

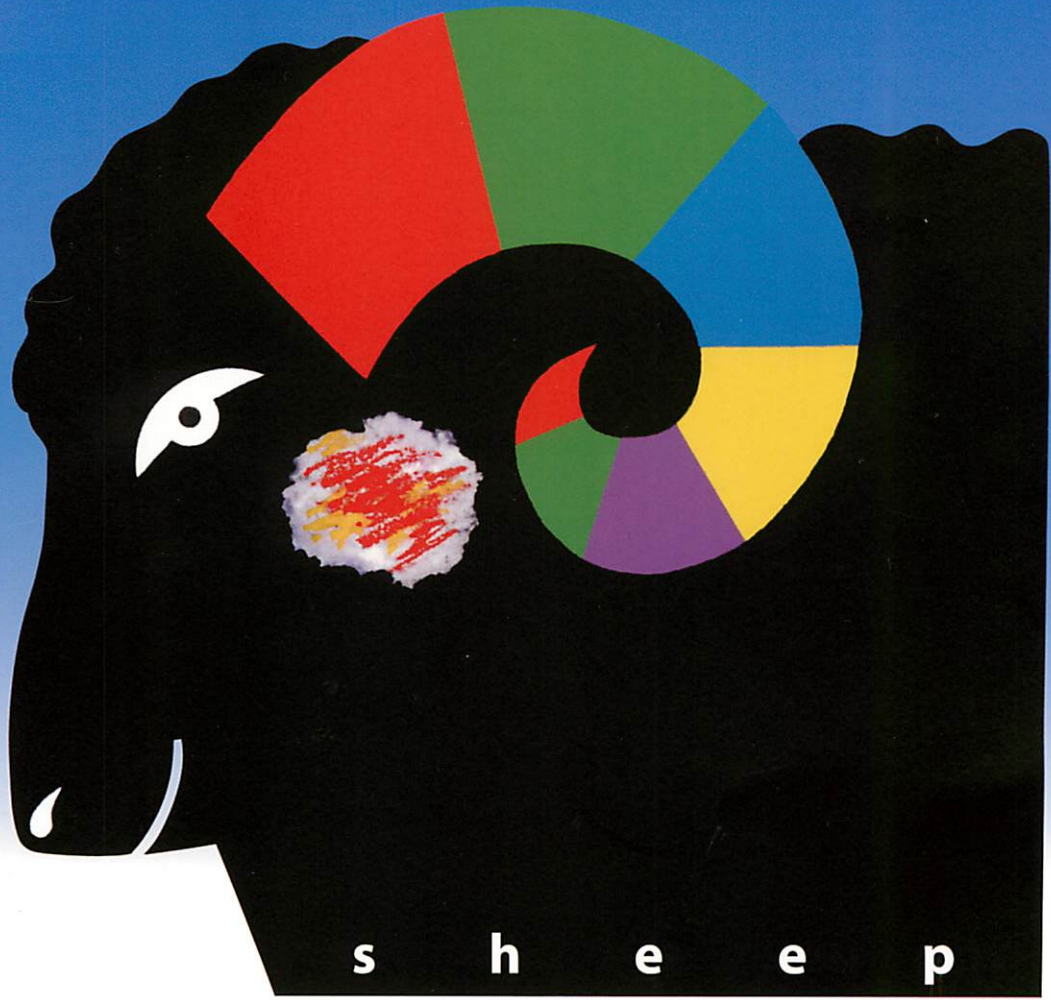
美 · 術 · 年 · 報

2

0

1

5



— 200 — 2.

徳島県美術家協会

目次

| | | | |
|-------------------------|------------------|--------|-----|
| はじめに | 徳島県美術家協会会長 河崎 良行 | 1 | |
| 徳島県美術家協会規約 | | 3 | |
| 後援承認事務取扱規定 | | 4 | |
| 後援名義使用承認申請書様式 | | 5 | |
| 平成 25 年度事業報告 | | 7 | |
| 平成 26 年度役員名簿 | | 10 | |
| 平成 26 年度各部役員名簿 | | 11 | |
| 第 22 回放美展記録 | | 16 | |
| 第 22 回放美展出品・入選等状況 | | 22 | |
| 第 22 回放美展公募規定 | | 23 | |
| 第 69 回徳島県美術展記録 | | 24 | |
| 第 69 回徳島県美術展出品・入選等状況 | | 32 | |
| 第 69 回徳島県美術展公募規定 | | 33 | |
| 徳島県美術展審査員一覧 | | 34 | |
| 徳島県美術展開催運営要項 | | 38 | |
| 第 10 回徳島県こども美術展出品・入選等状況 | | 42 | |
| 平成 26 年各部記録 | | | |
| ・日本画部 | 部会長 西野 和男 | 44 | |
| ・洋画部 | 部会長 榊田 務 | 47 | |
| ・写真部 | 部会長 上野 照文 | 55 | |
| ・彫刻部 | 部会長 松永 勉 | 59 | |
| ・美術工芸部 | 部会長 七條猪三郎 | 63 | |
| ・書道部 | 部会長 荒井 彭仙 | 67 | |
| ・デザイン部 | 部会長 田中 一郎 | 74 | |
| 平成 26 年度会員名簿 | | | |
| ・日本画部 | 80 | ・美術工芸部 | 88 |
| ・洋画部 | 81 | ・書道部 | 90 |
| ・写真部 | 84 | ・デザイン部 | 100 |
| ・彫刻部 | 88 | | |

あとがき

はじめに

徳島県美術家協会会長

河崎 良行

昨年は、自然災害が相次ぎ、南国徳島でも大雪被害に見舞われるという異常気象が全国ニュースとなり驚いている。

年末には突然の衆議院選挙があり、新内閣では「地方創生」を最重要課題に位置付けた。再び東京への一極集中に立ち向うという方針が示されたのだが、中央と地方の文化格差是正のチャンスになると期待しているものの、背景には「人口減少問題」がある。地域産業振興が主役で、文化行政にはどのような影響を及ぼすのか。ここは経済成長のみではなく、精神的な豊かさを持った文化的環境を高めておかなければ、若者は帰って来ないのではないだろうか。注視したいところである。

さて、第22回放美展は、四国放送と共催で5月2日～6日、あわぎんホールで開催された。今回は1,074点の出品があり、盛況裏に終えることができた。ただ気がかりなことは、新人の発掘や育成を主旨とし、若い人達の活動の場として放美展を想定しているが、近年はその若い世代の出品者や入場者も、減少傾向がみられることである。他の公募展も同じで、人口減少と若者の展覧会離れが一因と考えられる。今後は、若い層に対する活動の場を拡げるべく方策を検討し、関係者が作品発表の意義を伝える必要がある。

昨年の第69回県美術展（県民文化祭開催委員会、徳島新聞社と共催）は10月にあわぎんホールで開催された。出品総数は1,963点で昨年に比べやや減少しているが、県全体の人口が減っているので仕方のない面もある。それでも県内在住の1,100人余りの方による2千点近くの作品応募があったということは、いかに県展に向けて熱心な制作活動がなされているかということを示している。

徳島県子ども美術展は、第10回を迎え、第16回県民文化祭分野別フェスティバルとして徳島新聞社と共に開催。絵画、書写を合わせ13,431点の応募があり、子ども県展への関心の高さを示していた。10月17日から21日まであわぎんホールで展示され、その後阿南市と美馬市でも巡回展があり、地方の来場者を迎え鑑賞する場が設けられた。子どもの作品を一堂に集めて鑑賞する機会は極めて少なく、会場で見ると子どもの自由な表現は、大人の固定され勝ちな思考を超えた大胆さで、ダイナミックに伝わってきた。また子どもの純粋な思いやりや優しさに心が洗われる思いがした。このような創造的クリエイティブな能力を育てることが「地方創生」の基本になるとの思いがした。

表彰式終了後、第10回記念イベントとして、「わたしの街の芸術家さん～暮らしの中に『美』のある生活～」をタイトルにシンポジウムが開催された。パネリストとして美協会員8人が出演した。今後もこのような機会を設けて、美術文化の発展が県や国へと、より視野を広げた発展につながることを子どもたちに伝えたい。

昨年の美術展受賞者二人を紹介したい。平木美鶴さんは、第9回高知国際版画トリエンナーレ展で「夏の果実(六)」が準大賞を受賞。同展は日本を代表する国際版画展で国内外1,968点の中から選ばれた。東光司さんは第64回モダンアート展(東京都美術館)において「刻まれた風景2014」が第2席に当たる優秀賞を受賞。優れた構成力と石彫の技量が高く評価された。

当協会のメンバーは例年県内外で活躍されているが、詳細について各部の会員消息で報告されているのでご覧いただきたい。

昨年のビッグニュースとしては、中村修二教授がノーベル物理学賞を受賞されたことであろう。地方大学で教育を受け、しかも地方の企業で行った研究に対するノーベル賞は初めてだそうである。日本にとっても歴史的快挙で、まさに「地方創生」の最たるものであろう。

佐野比呂志前会長の遺作展が、昨年7月に県立近代美術館ギャラリーにて開催された。代表的な作品40点が展示され、多くの来場者が業績を偲ぶよい機会となった。

悲しいお知らせですが、本協会顧問の西條征二氏(勲五等瑞宝章)が1月10日91歳で逝去されました。また理事の中川健氏が8月15日に70歳で逝去されました。お二人とも長年美術家協会の役員を勤められ、県下の美術文化向上に貢献されました。ご遺徳を偲び心からご冥福をお祈りいたします。

最後になりましたが、徳島県、徳島新聞社、四国放送並びに美術家協会員の皆様に感謝の意を表します。

平成27年3月

徳島県美術家協会規約

| | | | |
|--------|-----|----|----------|
| 昭和 23. | 9. | 12 | 規約制定 |
| | 32. | 7. | 14 新規約制定 |
| 平成 4. | 6. | 27 | 規約一部改正 |
| | 6. | 6. | 25 // |
| | 10. | 6. | 27 // |
| | 24. | 6. | 9 // |
| | 25. | 6. | 1 // |
| | 26. | 6. | 1 // |

第1章 総 則

- 第1条 本会は徳島県美術家協会と称する。
- 第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。
- 第3条 本会は徳島県に関係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。
①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫刻
⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン
- 第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。
(イ) 展覧会 (ロ) 講習会 (ハ) 講演会
(ニ) 観光美術の振興 (ホ) その他必要な事業

第2章 役員および会員

- 第5条 本会に次の役員をおく。
会 長 副会長(2名) 事務局長
理 事(若干名) 監 事(2名)
会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員任期は2年として留任をさまたげない。
会長・副会長の総会での選出方法は、各部で代議員の中から2名の選考委員を選び、予め候補を選考した後、総会で選出する。
- 第6条 本会は顧問、参与および名誉会員を理事会の推せんによりおくことができる。
- 第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。事務局長はこの会の事務業務を統括する。監事はこの会の経理を監査する。
- 第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計事務の報告、役員を選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。
総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあっては3名、31名以上の部にあっては、さらに10名毎に1名選出できる。
- 第9条 理事会及び部会長会は必要に応じ会長が招集し総会の決議による会務および緊急事項を執行する。事務局長は必要に応じ事務局員を招集し、事務分担を行う。

第3章 部 会

- 第10条 各部に次の役員をおく。
部会長・委員(部会員数の3割以内とするが、部の事情によってはこの限りではない)
部監事(2名)
事務局員(2名)
役員は部総会で選出する。役員任期は2年とし留任をさまたげない。
- 第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計事務の報告、役員を選出その他重要事項の審議を行う。
ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。
- 第12条 委員会は必要に応じ部会長が招集し部会務を執行する。
- 第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会名において行うときは、理事会の承認を必要とする。
- 第14条 各部の経費は部会1人当たり、1,750円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

第4章 経 費

- 第15条 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。
- 第16条 会費は年額3,500円とし、入会金は1,000円とする。
- 第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

内 規

- 1 (監事)
監事は、基本的に規約第3条の順に従って、2部会が役員任期期間をつとめる。
- 2 (総会の議長)
総会の議長は、規約第3条の順に毎回持ち回りでつとめる。

(参 考)

- ☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内に置く。
- ☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館(徳島公園内の県立図書館)内へ移す。
- ☆昭和25年12月18日 協会バッチを選定(図案は鬼塚副会長)
- ☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事(3名~5名)によることとする。
- ☆昭和46年4月29日 6部(日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道)のうえに商業美術(58年度からデザインに改称)が加わり7部組織となる。
- ☆平成23年6月1日 事務局を事務局長の住所に置く。

後援承認事務取扱規定

(趣旨)

第1条 この規定は、徳島県美術家協会（以下「協会」という。）以外の団体が自主的、自発的活動として行う教育、文化及び美術等の各種行事に対して、協会が後援又は共催若しくは推奨（以下「後援等」という。）をする場合の承認事務の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(用語の定義)

第2条 この規定においての後援とは、協会以外の団体が計画した行事に、協会が当該行事の奨励及び助長をすることをいう。

(基本的な留意事項)

第3条 協会が美術展等を承認する場合は、次の事項に留意しなければならない。

- (1) 「後援等を承認する」ということは「協会の名義使用を認める」ということであり、それだけに他に及ぼす影響等を十分考慮し、過誤のないようにすること。
- (2) 安易に後援等を承認すると、一般市民の誤解を招き協会の信用をそこなうこととなるので、慎重に取り扱うこと。

(行事の主催者)

第4条 協会が後援等を承認する場合の主催者は、次の各号の一に該当するものでなければならない。

- (1) 教育、文化など協会の7部門に関係した機関及び団体。
- (2) 国又は地方公共団体及びそれらの機関。
- (3) 教育、文化機関及び美術研究団体。
- (4) 公益法人（宗教法人を除く。）及びこれに準ずる公共的団体。
- (5) その他、協会が特に認めたもの。

(承認の基準)

第5条 協会が後援等を承認する場合の行事内容は、「教育、文化及び美術等の普及向上に寄与するもので、公益性のあるもの。」でなければならない。ただし、次の各号の一に該当するものは後援等の承認をしないものとする。

- (1) 政治的、宗教的中立性を侵すおそれのあるもの。
- (2) 特定の流派等で、協会の後援に適さないもの。
- (3) 営利又は売名（個人、団体を問わない。）の意図をもって企画されているもの。
- (4) 行事の企画、運営等が適切でないと認められるもの。

- (5) その他、協会が後援等をするを不適当と認めるもの。

(後援等の申請)

第6条 行事の主催者は、協会に後援等の承認を得ようとするときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書（様式第1号）を原則として30日前までに提出しなければならない。

- 2 前項の申請書には、行事計画及び行事内容の記載を必要とする。また、その内容によっては、協会が必要書類の提出を求めることがある。

(承認決定の通知)

第7条 協会は、後援等を承認決定したときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認通知書（様式第2号）により申請者（主催者）に通知するものとする。

(後援等の取消し)

第8条 協会は、後援等を承認決定した後に、当該行事が次の各号の一に該当したときは、後援等を取り消すものとする。

- (1) この規定の第5条の規定に接触することとなったとき。
- (2) 後援等申請書が虚偽の申請であったとき。
- (3) 承認決定の条件に違反し、協会の指示に従わなかったとき。

附 則

- 1 この規定は、平成24年6月9日から施行する。

徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書

平成 年 月 日

徳島県美術家協会会長 様

申請者（主催者）

住 所 _____

団 体 名 _____

代表者名 _____ 印

電話番号 _____

次の行事について徳島県美術家協会の後援名義使用承諾を得たいので関係書類を添えて申請します。

新規 ・ 継続（該当に○印をつけてください）

| | |
|------------------------------------|-------------------------|
| 行 事 名 | |
| 開催日時（期間） | 平成 年 月 日（ ）～平成 年 月 日（ ） |
| 開催場所名 | |
| 開催場所所在地 | |
| 共催団体名 | |
| 他の後援団体名 | |
| 入 場 料 | 有（詳細を記入： _____） ・ 無 |
| 後援承認通知書 送付先住所氏名 | 〒 _____ 氏名 |
| 行 事 概 要 （行事計画及び行事内容などを記載してください） | |

注 1) 共催団体名、他の後援団体名は予定のものも含めて記載してください

様式第 1 号

注 2) A4 に拡大コピーして申請書としてご使用ください

平成 25 年度事業報告

- (1) 総 会 ◇平成 25 年 6 月 1 日 (土)
◇あわぎんホール 5F 会議室 6
◇平成 24 年度事業報告及び決算報告
◇監査報告・承認
◇平成 25 年度事業計画及び予算審議
◇その他
- (2) 第 21 回放美展
◇平成 25 年 5 月 2 日 (木) ～ 6 日 (月)
◇あわぎんホール 3F 全展示室及び 4F 会議室 2 ～ 4
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道・デザインの 580 点展示
◇受賞者表彰式 平成 25 年 5 月 5 日 (日) あわぎんホール
- (3) 第 68 回徳島県美術展
◇第 1 期 平成 25 年 10 月 12 日 (土) ～ 20 日 (日)
あわぎんホール 3F 全展示室及び 4F 会議室 2 ～ 4
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・デザインの 521 点展示
◇第 2 期 平成 25 年 10 月 22 日 (火) ～ 29 日 (火)
あわぎんホール 3F 全展示室
書道の 406 点展示
◇受賞者表彰式 平成 25 年 10 月 20 日 (日) あわぎんホール
- (4) 第 9 回徳島県子ども美術展
◇平成 25 年 10 月 18 日 (金) ～ 22 日 (火)
◇あわぎんホール 4F 大会議室
徳島県内に在学する小・中学生の絵画・書写 1,776 点展示
◇受賞者表彰式 平成 25 年 10 月 20 日 (日) あわぎんホール
- (5) 関係会議 ◇ 4 月 19 日 放美展運営委員会
◇ 8 月 20 日 県展運営委員会
◇ 11 月 27 日 放美展運営委員会
◇ 1 月 19 日 理事会
◇ 2 月 18 日 県展運営委員会

- (6) **各部会行事** ◇洋画部 第27回洋画部会員展 (25.7.4～7.7) あわぎんホール
 ◇写真部 写真部撮影会 (25.6.30) 福山市鞆の浦
 ◇デザイン部 ポスター展「- LOVE -」(26.2.8～2.12)
 徳島県立近代美術館ギャラリー

- (7) **各種後援** ◎第26回長玄書道会展 (25.4.12～14)
 ◎第4回鳴門水彩美学展 (25.4.13～18)
 ◎ニッコールクラブ第14回徳島支部写真展 (25.4.19～21)
 ◎第16回徳島市新町川ボードウォークポスター展「ファイト!」 (25.4.19～21)
 ◎13th.UNIT-D 作品展 (25.5.10～12)
 ◎第31回徳島平和美術展 (25.5.16～19)
 ◎第36回写真同人「炎」作品展 (25.5.31～6.2)
 ◎徳島アート21 第11回展 (25.6.5～9)
 ◎第36回八紅展 (25.6.13～16)
 ◎第34回東光会徳島支部展 (25.6.14～16)
 ◎第20回記念歌の会書作展 (25.6.21～23)
 ◎書道企画展「筆にこだわった書道展」 (25.6.29～8.15)
 ◎第62回松林会書展 (25.7.12～15)
 ◎二科会写真部徳島支部展 (25.7.12～17)
 ◎第72回世代美術展 (25.7.18～21)
 ◎第4回翔和会かな書作展 (25.7.26～28)
 ◎第27回四国大学書道文化学科教員展 (25.7.30～8.4)
 ◎グルッポフォト 23写真展 (25.8.2～5)
 ◎三美書研展(第21回三好美馬書道研究会展) (25.8.23～25)
 ◎第2回青藍会書作展 (25.8.30～9.1)
 ◎第78回書芸院展 -伝- (25.9.5～8)
 ◎第69回青美展 (25.9.5～8)
 ◎第58回書協人展 (25.9.20～22)
 ◎第53回写楽会写真展 (25.9.27～29)
 ◎第12回一心会書展 (25.9.27～29)
 ◎第6回徳島絵画美学展 (25.10.2～6)
 ◎第17回旺美展 (25.10.9～15)
 ◎第19回徳島障害者芸術祭「エナジー2013」 (25.10.22～27)
 ◎第28回藍美展 (25.11.1～3)
 ◎東洋画家・加藤松林人展 (25.11.4～9)
 ◎第3回木田英之と合同クラブ写真展 (25.11.7～10)

| | |
|-----------------------------------|---------------|
| ◎第9回書朋六人展 | (25.11.8～10) |
| ◎第4回四国由源書展 | (25.11.8～10) |
| ◎第19回六書会書展 | (25.11.8～10) |
| ◎楽しい写真俳句の世界 | (25.11.11～24) |
| ◎第8回写真集団「光」写真展 | (25.11.15～17) |
| ◎第12回合同絵画展 | (25.11.15～17) |
| ◎第43回芳藍書道展 | (25.11.15～17) |
| ◎第17回せせらぎ書展 | (25.11.22～24) |
| ◎第9回吉野川市書人会作品展 | (25.11.22～25) |
| ◎第18回尚真書展テーマ自分の花を咲かそう | (25.12.6～8) |
| ◎第4回虹光会書展 | (25.12.6～8) |
| ◎徳島県高校生 第3回書道席書創作コンクール | (25.12.7～15) |
| ◎第42回歳末チャリティー作品・色紙即売展 | (25.12.13～15) |
| ◎Tokushima Print Works 徳島版画展 2013 | (25.12.19～23) |
| ◎第34回臨池書展 | (25.12.21～23) |
| ◎第40回記念双暢会書展・第16回東南光書展 | (26.1.10～13) |
| ◎第46回モダンアート徳島支部展 | (26.1.16～21) |
| ◎第36回泉心会書作展 | (26.1.24～26) |
| ◎第19回悠美展 | (26.1.24～26) |
| ◎第38回東玄書道会展 | (26.1.31～2.2) |
| ◎美協デザイン部ポスター展「－ LOVE －」 | (26.2.8～12) |
| ◎第39回四国大学書道文化学科卒業制作展 | (26.2.8～12) |
| ◎第9回吉野川市・阿波市二市絵画交流展 | (26.2.8～10) |
| ◎第5回徳島北高等学校美術部書道部合同展 | (26.2.22～23) |
| ◎第34回書研社展 | (26.2.28～3.2) |
| ◎第5回琴清会書展 | (26.3.7～9) |
| ◎第48回書道研究 清潮書作展 | (26.3.7～9) |
| ◎平成25年度 徳島大学書道部・OB会書作展 | (26.3.20～23) |
| ◎第24回美術文化徳島支部展 | (26.3.21～24) |
| ◎第45回ナルトぴんぼけクラブ写真展 | (26.3.21～23) |
| ◎第28回正鋒会書展 | (26.3.28～30) |

平成 26 年度 役員名簿

| | | | | |
|------|---------|--|-----|---------|
| 会 長 | 河 崎 良 行 | | 理 事 | 能 仁 華 瑤 |
| 副会長 | 春 藤 大 耿 | | " | 田 中 一 郎 |
| " | 西 南 龍 | | " | 福 井 章 |
| 事務局長 | 西 川 周 三 | | " | 坂 本 三千一 |
| 理 事 | 西 野 和 男 | | " | 沢 口 功 |
| " | 岡 英 彦 | | | |
| " | 長 谷 壽 | | 監 事 | 隅 田 英 二 |
| " | 榊 田 務 | | " | 齋 藤 繁 次 |
| " | 黒 崎 志 郎 | | | |
| " | 松 川 寛 | | 顧 問 | 長 尾 弘 子 |
| " | 露 口 敏 幸 | | " | 櫛 淵 魏 |
| " | 田 中 シゲミ | | | |
| " | 上 野 照 文 | | | |
| " | 橋 本 圭 祐 | | | |
| " | 井 藤 光 章 | | | |
| " | 林 敏 彦 | | | |
| " | 増 田 寿 | | | |
| " | 松 永 勉 | | | |
| " | 鎌 田 邦 宏 | | | |
| " | 井 下 俊 作 | | | |
| " | 上 月 佳 代 | | | |
| " | 七 條 猪三郎 | | | |
| " | 多智花 佐代子 | | | |
| " | 松 下 雄 介 | | | |
| " | 松 下 慶 一 | | | |
| " | 荒 井 彭 仙 | | | |
| " | 隅 田 英 二 | | | |
| " | 竹 田 和 代 | | | |
| " | 薄 田 玲 泉 | | | |

平成 26 年度 各部役員名簿

日本画部

| | |
|------|---------|
| 部会長 | 西 野 和 男 |
| 委 員 | 長 尾 弘 子 |
| 〃 | 橋 本 正 弘 |
| 〃 | 岡 英 彦 |
| 〃 | 長 谷 壽 |
| 〃 | 土 井 洋 子 |
| 〃 | 土 方 るみ子 |
| 監 事 | 中 西 芳 雄 |
| 〃 | 日 浦 猛 史 |
| 事務局員 | 岡 英 彦 |
| 〃 | 日 浦 猛 史 |

洋画部

| | |
|------|---------|
| 部会長 | 榊 田 務 |
| 委 員 | 松 川 寛 |
| 〃 | 黒 崎 志 郎 |
| 〃 | 河 田 安 市 |
| 〃 | 中 辻 奈美枝 |
| 〃 | 西 川 周 三 |
| 〃 | 玉 田 秀 子 |
| 〃 | 露 口 敏 幸 |
| 〃 | 長 尾 弘 久 |
| 〃 | 越 久 高 照 |
| 〃 | 鈴 木 敬 子 |
| 〃 | 宇 高 桂 子 |
| 〃 | 嵯 峨 潤 三 |
| 〃 | 大 西 道 夫 |
| 〃 | 平 木 美 鶴 |
| 監 事 | 田 中 シゲミ |
| 〃 | 伊 勢 浩 章 |
| 事務局員 | 西 川 周 三 |
| 〃 | 田 中 シゲミ |

写真部

| | |
|------|-------|
| 部会長 | 上野照文 |
| 委員 | 橋本圭祐 |
| 〃 | 井藤光章 |
| 〃 | 林敏彦 |
| 〃 | 増田寿 |
| 〃 | 田村泰弘 |
| 〃 | 伊達照子 |
| 〃 | 大和健司 |
| 〃 | 森住博 |
| 〃 | 佐治孝 |
| 〃 | 川眞田慶治 |
| 〃 | 堀口幸男 |
| 〃 | 野藤みきよ |
| 〃 | 梅本貞範 |
| 〃 | 岩崎英昭 |
| 〃 | 平野史子 |
| 〃 | 賀川泰広 |
| 〃 | 船越正文 |
| 〃 | 大津勝治 |
| 〃 | 武地雅 |
| 〃 | 土橋成行 |
| 〃 | 野口佳一 |
| 〃 | 三木理司 |
| 〃 | 森内昭男 |
| 〃 | 田村伸廣 |
| 監事 | 田村泰弘 |
| 〃 | 森住博 |
| 事務局員 | 井上憲治 |
| 〃 | 阿部啓三 |

彫刻部

| | |
|------|-------|
| 部会長 | 松永勉 |
| 委員 | 濱口惠 |
| 〃 | 佐藤隆 |
| 〃 | 井下俊作 |
| 〃 | 鎌田邦宏 |
| 〃 | 居上真人 |
| 〃 | 東光司 |
| 監事 | 上月佳代 |
| 〃 | 武田亜希子 |
| 事務局員 | 松永勉 |
| 〃 | 木村大志 |

美術工芸部

| | |
|------|---------|
| 部会長 | 七 條 猪三郎 |
| 委 員 | 山 上 馨 |
| 〃 | 矢 野 款 一 |
| 〃 | 多智花 佐代子 |
| 〃 | 松 下 雄 介 |
| 〃 | 松 下 慶 一 |
| 〃 | 橘 惠 |
| 〃 | 森 賢 一 |
| 〃 | 斎 藤 和 彦 |
| 〃 | 藤 井 哲 信 |
| 〃 | 田 村 栄一郎 |
| 監 事 | 森 明 治 |
| 〃 | 犬 伏 絢 |
| 事務局員 | 橘 惠 |
| 〃 | 多智花 佐代子 |

書道部

| | |
|-----|---------|
| 部会長 | 荒 井 彭 仙 |
| 委 員 | 東 南 光 |
| 〃 | 伊 丹 東 龍 |
| 〃 | 亀 石 文 苑 |
| 〃 | 清 水 桂 月 |
| 〃 | 島 田 小 園 |
| 〃 | 春 藤 大 耿 |
| 〃 | 薄 田 玲 泉 |
| 〃 | 隅 田 英 二 |
| 〃 | 竹 田 和 代 |
| 〃 | 多 田 清 芳 |
| 〃 | 玉 城 乾 香 |
| 〃 | 中 尾 勝 子 |
| 〃 | 長 原 皋 聖 |
| 〃 | 永 松 春 苑 |
| 〃 | 西 南 龍 |
| 〃 | 能 仁 華 瑤 |
| 〃 | 長 谷 美 峰 |
| 〃 | 浜 佳 香 |
| 〃 | 前 川 古 舟 |
| 〃 | 三 浦 富美代 |
| 〃 | 美 馬 幾美賀 |
| 〃 | 宮 井 青 雨 |
| 〃 | 山 口 華 城 |
| 〃 | 青 木 東 原 |
| 〃 | 馬 居 汀 香 |
| 〃 | 大 下 江 波 |
| 〃 | 沖 田 唐 谷 |
| 〃 | 川 上 虹 泉 |
| 〃 | 河 野 多 美 |

| | | | | |
|----|---|---|----|---|
| 委員 | 川 | 村 | 春 | 琴 |
| " | 駒 | 田 | 水 | 洸 |
| " | 洲 | 崎 | 忠 | 峰 |
| " | 鈴 | 木 | 惠 | 理 |
| " | 高 | 田 | 青 | 蓮 |
| " | 谷 | 口 | 清 | 水 |
| " | 花 | 本 | 清 | 香 |
| " | 福 | 永 | 美 | 泉 |
| " | 藤 | 村 | 柳 | 葉 |
| " | 南 | | 溪 | 石 |
| " | 八 | 木 | 藍 | 玉 |
| " | 吉 | 田 | 翠 | 彩 |
| " | 赤 | 川 | 景 | 舟 |
| " | 東 | | 弥 | 生 |
| " | 井 | 上 | 虹 | 雨 |
| " | 上 | 田 | 輝 | 芳 |
| " | 内 | 田 | 麻 | 紀 |
| " | 阿 | 部 | 博 | 子 |
| " | 岡 | 島 | 順 | 子 |
| " | 加 | 村 | 喜美 | 子 |
| " | 河 | 野 | 静 | 江 |
| " | 倉 | 本 | 景 | 雨 |
| " | 下 | 村 | 清 | 子 |
| " | 鈴 | 江 | 美音 | 子 |
| " | 富 | 久 | 鳴 | 泉 |
| " | 中 | 谷 | 史 | 子 |
| " | 藤 | 原 | 育 | 代 |
| " | 宮 | 守 | 崇 | 流 |
| " | 向 | 井 | 京 | 子 |
| " | 森 | | 光 | 翔 |
| " | 山 | 本 | 景 | 琴 |

| | | | | |
|------|---|---|---|---|
| 委員 | 朝 | 三 | 臯 | 如 |
| " | 岩 | 本 | 志 | 豪 |
| " | 大 | 西 | 清 | 葩 |
| " | 川 | 端 | 康 | 清 |
| " | 川 | 又 | 晃 | 容 |
| " | 岸 | | 緑 | 香 |
| " | 幸 | 田 | 清 | 尚 |
| " | 芝 | 原 | 醒 | 鶴 |
| " | 高 | 瀬 | 大 | 峯 |
| " | 玉 | 城 | 乾 | 舞 |
| " | 仁 | 木 | 志 | 香 |
| " | 平 | 岡 | 幽 | 琴 |
| " | 丸 | 岡 | 香 | 貞 |
| " | 丸 | 田 | 惠 | 風 |
| " | 森 | 本 | 成 | 玉 |
| " | 山 | 口 | 幽 | 徑 |
| " | 日 | 下 | 溪 | 翠 |
| " | 林 | | 桂 | 翠 |
| 監事 | 武 | 市 | 鳴 | 雲 |
| " | 河 | 野 | 真 | 流 |
| 事務局員 | 長 | 原 | 臯 | 月 |
| " | 林 | | 美 | 雪 |

デザイン部

| | |
|------|---------|
| 部会長 | 田 中 一 郎 |
| 委 員 | 坂 本 三千一 |
| 〃 | 福 井 章 |
| 〃 | 沢 口 功 |
| 〃 | 敷 島 のり子 |
| 〃 | 吉 本 實 |
| 〃 | 北 島 豊 嗣 |
| 〃 | 四十宮 隆 志 |
| 〃 | 西 林 良 枝 |
| 監 事 | 斎 藤 繁 次 |
| 〃 | 坂 野 美恵子 |
| 事務局員 | 吉 本 實 |
| 〃 | 四十宮 隆 志 |

第 22 回放美展記録

会 期 平成 26 年 5 月 2 日 (金) ~ 6 日 (火・振休)

会 場 あわぎんホール (徳島県郷土文化会館)

日本画

[審査員] 西野 和男 橋本 正弘 中西 芳雄
[放美賞] 植田 忠生
[優秀賞] 富永 博子
[梅岡トヨ賞] 大久保優子
[入 選] 中村 繁子 谷 尚武 森本 秀代 岩木 寿美 一條 安由
西岡 ちほ 中嶋 昌子 水田 貴子 大黒 規子 鈴木 恵子
中村真智子 齋藤 久男 久保 守近 阿部梨々花 新居見香奈
久米 真代 鈴木 妙花 天羽 弘毅 嘉見 貞子

洋画

[審査員] 露口 敏幸 玉田 秀子
[無鑑査] 野口 暁子 田中 康子
[遺 作] 佐野比呂志
[放美賞] 小笠原秋子
[優秀賞] 杉本 祥子 白草 由子 眞鍋たえ子 長尾賀代子 土橋 正子
下内 一弘 大西 道夫
[梅岡トヨ賞] 美馬 匠吾
[入 選] 大坪潤一郎 米津 良子 河野 博匡 富岡 晴恵 小笠 正明
大南 芳子 遠藤公美子 武田 洋子 竹原 良亮 中野 芳輝
林 敏雄 梅津美砂代 新藤佐代子 井上 徹 佐々木公子
長坂 芳子 前川フキ子 為実美恵子 和田 寿子 坂東 悦子

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 高橋 都子 | 米沢 博 | 二階千鶴子 | 中山 清一 | 林 茂子 |
| 岩井 春美 | 山口 明美 | 岩佐 孝男 | 福田 紀子 | 山口 興一 |
| 中村 俊夫 | 東原 綺子 | 横井嘉世恵 | 中村 由春 | 馬淵 博子 |
| 林 静代 | 森本 操 | 阿部 幸子 | 西川 照美 | 阿部 昌子 |
| 黒島 貞子 | 野口 義仁 | 鈴江陽一郎 | 田中 敏雄 | 野上 恵子 |
| 中内あい子 | 鈴木 敬子 | 多田美千代 | 坂東 弘子 | 福本 恵 |
| 丹生 照子 | 川野 曙美 | 中尾 静香 | 丸関 朋子 | 大荒 彩貴 |
| 横岑 竜之 | 阿部 真純 | 中村 芽生 | 太田 桃子 | 三好 佑季 |
| 横島 寛 | 渡辺カツコ | 小西 楓美 | 青江 有佳 | 原 愛紗 |
| 吉岡 厚子 | 馬淵 尚子 | 市原 幸子 | 宮内 一子 | 川東 妙子 |
| 今出 武史 | 答島 和年 | 尾浦 粹子 | 高木 幸美 | |

写 真

| | | | | | |
|---------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|
| [審査員] | 柳淵 魏 | 上野 照文 | 林 敏彦 | | |
| [無鑑査] | 野口 道子 | 田中 伸廣 | 川西 明雄 | 多田 進 | 島 廣幸 |
| [放美賞] | 岸田 義市 | | | | |
| [優秀賞] | 島 祥子 | 久我 千鶴 | 早淵 茂 | 中村健二郎 | 滝島 豊美 |
| | 郡 英明 | 岡本さなえ | 熊谷美智子 | 辺見 博子 | 大西 啓子 |
| | 上杉 大一 | 野藤みきよ | 松浦 孝 | 高橋 一恵 | 福永 豊 |
| | 増田 実 | 福井 純子 | | | |
| [梅岡トヨ賞] | 三木万理子 | | | | |
| [入 選] | 織野 将寛 | 庄野 里美 | 岸 和幸 (2) | 岡三 希生 | 三原 弘枝 (2) |
| | 久我 千鶴 | 三谷美津子 (2) | 山上 道子 (2) | 山上 堯 (2) | 辻 義徳 |
| | 山口 正明 (2) | 南 敦子 | 中村健二郎 | 吉田 俊子 | 大和 章人 (2) |
| | 森住 孝義 (2) | 滝島 豊美 | 板東美智代 | 斎藤 幹夫 | 佐藤 義雄 |
| | 谷 嘉明 (2) | 鍋島治世子 | 郡 利明 | 四宮 清文 | 原田 章一 |
| | 榎本 真悟 | 板東よしお | 喜多 昌弘 (2) | 岸田 義市 | 佐藤美智子 (2) |
| | 松家 安信 | 幾田 茂仁 | 常陸 章 | 岡本さなえ | 佐藤 康之 |

| | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 熊谷美智子(2) | 圓藤由貴子(2) | 上岡真紀代 | 水口 義行 | 吉田 隆之(3) |
| 久保 朋也(2) | 春田 操 | 田村 清憲 | 松村久美子 | 福居 幹夫 |
| 辺見 博子 | 妹尾 隆浩(2) | 大西 啓子 | 大西 忠 | 笠井 孝純 |
| 喜多 省三 | 氏師 敏晴(2) | 埴淵 節子 | 阿部 久雄 | 郡 訓子 |
| 山田 久夫 | 和田多香子 | 住友 徳 | 中野みどり(2) | 西岡まゆみ(2) |
| 大島 梨香 | 高橋 一恵 | 猪井 美紀 | 賀川 泰広 | 今出 弘 |
| 福永 豊 | 増田 実(2) | 長浦 武尚(3) | 下川 清 | 中山 洋三 |
| 高曾根信義(2) | 森平 重利 | 姫野 博司 | 土橋 成行 | 宮前 稔(3) |
| 山下 助信 | 福井 邦博(2) | 福井 純子 | 佐倉 幹雄 | 庄野 和博(2) |
| 二階 博司(2) | 古字 智子 | 長田 貞男 | 鳥井 敬一(3) | 宇治 秀壽 |
| 竹内 好文 | 谷 ひづる(2) | 平澤 澄子 | 松浦 昭代 | |

彫 刻

| | | | | | |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| [審査員] | 井下 俊作 | 居上 真人 | 鎌田 邦宏 | | |
| [放美賞] | 大貝 寿子 | | | | |
| [優秀賞] | 横島 寛 | | | | |
| [梅岡トヨ賞] | 岡田 朋 | | | | |
| [入 選] | 益田 耕次 | 阿部まきみ | 斎藤 康男 | 渡辺 由菜 | 楠口 銀平 |
| | 秋山紗弥花 | 埴淵 照二 | 福永ゆかり | | |

美術工芸

| | | | | | |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| [審査員] | 橘 恵 | 松下 雄介 | 斎藤 和彦 | | |
| [無鑑査] | 吉田 陽子 | 大貝 寿子 | | | |
| [放美賞] | 真田八重子 | | | | |
| [優秀賞] | 久保 英樹 | 手塚 健一 | 東條 容子 | 原田 明實 | 吉野 由紀 |
| [梅岡トヨ賞] | 桜木 優樹 | | | | |

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| [入 選] | 石井 春夫 | 平瀬 進也 | 平尾 静子 | 遠藤 好子 | 遠藤 勇 |
| | 阿部 能則 | 四宮 千代 | 松本 宏 | 木村 秋夫 | 原田 明子 |
| | 戸島 裕明 | 板東 啓子 | 藤中 教代 | 高瀬 裕司 | 松家 英樹 |
| | 北町 裕子 | 大草 幸子 | 眞鍋 繭弘 | 大貝 貞雄 | 久保 英樹 |
| | 武田 潤子 | 下内 良一 | 藍原 房補 | 久保 祐子 | 石原康次郎 |
| | 大内 敏男 | 筒井 節子 | 向 紫 | 竹治 敦子 | 櫻間 修子 |
| | 九鬼 公香 | 亀井 良子 | 東條由記子 | 桜井 弘子 | 佐藤 晴美 |
| | 佐藤 優子 | 前田 一美 | 西 美稚子 | 新見 道代 | 鳥井 明子 |
| | 毛利 貴子 | 鈴江 美佐 | 宮本 真弓 | 中島美和子 | 前野 亮治 |
| | 村上 綾子 | 林 由井 | 日高 琴美 | 林 滋子 | 山下壽美代 |
| | 佐藤 律子 | 阿部まきみ | 小川 光 | 谷川 幹子 | 近藤佐起江 |
| | 鈴江 正子 | 横井嘉世恵 | 青木 壽美 | 宮本 薫 | 山本加奈子 |
| | 久米川昌俊 | 安岡 大季 | 粟内 愛菜 | 大西 安奈 | 仁木富久子 |
| | 松本みづる | 原 嶋子 | 上田 優 | 内名 守 | 家形笑美子 |
| | 前川 政秀 | 西内 貞二 | 山村 明敬 | 西岡 秀規 | 森 克江 |
| | 朝田 恵子 | 谷中 弘子 | 生田 明子 | 松永 卓司 | 矢竹 源久 |

書 道

| | | | | | |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| [審査員] | 山口 華城 | 亀石 文苑 | 前川 古舟 | | |
| [放美賞] | 糺 真理子 | | | | |
| [優秀賞] | 洲崎 忠峰 | 清水 芳雲 | 石川 翔子 | 久保可奈子 | 田村 元帥 |
| | 和泉 和舟 | 原田 葉子 | 小野 宙成 | 義富 博正 | |
| [梅岡トヨ賞] | 藍原 美桜 | | | | |
| [入 選] | 谷本 藍泉 | 市原 瑞葉 | 松本 観翠 | 井野 恵風 | 妹尾 紅雲 |
| | 森本 茂宏 | 丸岡 真弓 | 斎藤千代子 | 岡本 朱美 | 渡部 敦子 |
| | 小笠 英文 | 益岡 輝実 | 大和 公代 | 吉成 春菜 | 長谷川麗菜 |
| | 大木緋奈乃 | 阿部 英恵 | 藤田 佳花 | 尾形 綾菜 | 上野 益泉 |
| | 野口 有香 | 秋山 啓歩 | 西改 俊子 | 土居千伽子 | 安友 愛理 |

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 福德 結花 | 岡本絵梨佳 | 四宮 仁苑 | 松田 理芳 | 柳本 真苑 |
| 米澤 萌 | 佐藤 央尚 | 宇野 沙耶 | 鶴熊 美樹 | 渡口すず菜 |
| 村上 絢香 | 岩佐 和奏 | 牧本 千晶 | 武市香於里 | 加藤 彩誇 |
| 浜 ななみ | 増原 芹華 | 武澤まどか | 村澤 雪江 | 東 日奈子 |
| 宮本 茜 | 北山 佳奈 | 正見明日香 | 新田 彩乃 | 妹尾百合香 |
| 野村 佳世 | 北岡 佳香 | 新居 京華 | 小野 朱里 | 山本 采弥 |
| 河野 真依 | 山蔭 玲翠 | 高木 菜央 | 市原 彩光 | 森本 明美 |
| 船崎スエ子 | 町田 咲季 | 町田 哲子 | 伊藤 景風 | 坪井 佳代 |
| 高木美賀子 | 山橋不二子 | 加村喜美子 | 吉田 好孝 | 笠原 三雨 |
| 森 眞美 | 桑村 美慧 | 坂本 恵美 | 齋藤 弥生 | 播磨 秀子 |
| 今津 紫秋 | 土佐 朱美 | 日下壽美子 | 林 英子 | 濱口 恵 |
| 篠賀 知代 | 田岡佐記子 | 中川 年代 | 脇坂 優 | 内田 麻紀 |
| 畠山 政子 | 藤井三樹子 | 有持恵美子 | 春川 青超 | 下藤 朱莉 |
| 幸田 清尚 | 大石 康正 | 正見 千恵 | 吉田 理絵 | 川又 晃容 |
| 坂尾 竟成 | 川端 康清 | 森本 成玉 | 遠藤 禎子 | 児玉 幸子 |
| 今治 宏美 | 高瀬 大峯 | 村田 苔石 | 梶川 佳奈 | 大胡恵里香 |
| 長崎 香春 | 佐藤由紀代 | 中川 観山 | | |

デザイン

[放美賞] 山野井宏宗

[優秀賞] 安友理利子 三木ひより 東 早紀 塩崎 智絵 美馬 匠吾

[梅岡トヨ賞] 板東 未記

[入選] 林 敏雄 米田 弥生 前畑あすか 田中見那美 田中 綾乃
栗飯原早希 小倉 緩奈 前田 陽香 近藤 佑実 小賀野みつき
太田 早紀 天満 琴乃 小藤 由愛 美保 春佳 花補佐真穂
木村 るな 蔭山 桜湖 松村 夏実 福井 桃菜 石田 小波
長元 佑芽 佐藤 史織 岩本 愛佳 佐川 美夏 坂東こころ
生川 佳代 岩井 由実 長野 風太 齋 紗耶香 山内 春菜

| | | | | |
|-------|-------|-------|---------|-------|
| 大上 南波 | 佐藤絵理奈 | 井原 亘 | R i k a | 長樂 小夏 |
| 寶山 多恵 | 大西 真由 | 近藤由紀乃 | 久米 千裕 | 津山 美里 |
| 宗本真里奈 | 松永 拓也 | 酒井 志帆 | 大森 加澄 | 辨崎 鶴美 |

第 22 回放美展出品・入選等状況

| 部門 | | 日本画 | 洋画 | 写真 | 彫刻 | 美術工芸 | 書道 | デザイン | 計 |
|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 区分 | 出品点数 | 31 | 153 | 420 | 15 | 124 | 210 | 121 | 1,074 |
| | 出品者数 | 31 | 144 | 170 | 13 | 98 | 153 | 116 | 725 |
| 入賞・入選 | 放美賞 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 |
| | 優秀賞 | 1 | 7 | 17 | 1 | 5 | 9 | 5 | 45 |
| | 梅岡トヨ賞 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 |
| | 入選数 | 19 | 74 | 121 | 8 | 80 | 108 | 45 | 455 |
| | 計 | 22 | 83 | 140 | 11 | 87 | 119 | 52 | 514 |
| | 入選率 | 71.0 | 54.2 | 33.3 | 73.3 | 70.2 | 56.7 | 43.0 | 47.9 |
| 選外 | 落選数 | 9 | 70 | 280 | 4 | 37 | 91 | 69 | 560 |
| | 落選率 | 29.0 | 45.8 | 66.7 | 26.7 | 29.8 | 43.3 | 57.0 | 52.1 |
| 無審査出品 | 審査員 | 3 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 0 | 17 |
| | 無鑑査 | 0 | 2 | 5 | 0 | 2 | 0 | 0 | 9 |
| | 計 | 3 | 4 | 8 | 3 | 5 | 3 | 0 | 26 |
| 展示数 | | 25 | 87 | 148 | 14 | 92 | 122 | 52 | 540 |

第 22 回放美展公募規定

| 部門 区分 | 日本画 | 洋画 | 写真 | 彫刻 |
|----------------|--|---|---|---|
| 登録受付期限 | 平成 26 年 4 月 11 日 (金) | | | |
| 搬入日 | 平成 26 年 4 月 29 日 (火・祝) | | | |
| 搬入場所 | あわぎんホール (県郷土文化会館) 3 階展示室 | | | |
| 審査日 | 平成 26 年 4 月 29 日 (火・祝) | | | |
| 審査員 | 西野 和男 橋本 正弘 中西 芳雄 | 玉田 秀子 露口 敏幸 長尾 弘久 | 柳渕 魏 上野 照文 林 敏彦 | 井下 俊作 居上 真人 鎌田 邦宏 |
| 出品料 | 1 点目 3,000 円 2 点目・3 点目各 1,000 円 高校生・高専生・大学生・専門学校生は 1 点 1,000 円 | | | |
| 応募資格・ 出品制限等 | ・未公開作品に限る ・高校生以上 ・県内外不問 ・作品のみ送付は不可 ・1 人 3 点以内 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・最小：額縁の幅を除く画面が 70cm × 47cm 以上 ・最大：額縁を含む縦、横の一辺が 130cm 以内 ・額装 ・裏面に吊り紐 ・アクリル・ガラス等で画面を覆わない | <ul style="list-style-type: none"> ・最小 20 号 (版画は最小 10 号) ~ 最大 50 号以内 (ただし S 型は 30 号が上限) ・アクリル・ガラス等で画面を覆わない (ただし、水彩画、版画はアクリルに限り可) ・額装 ・吊り紐 | <ul style="list-style-type: none"> ・単写真・組写真とも半切及び A3 から全倍サイズで、画面の長辺が 40cm 以上 90cm 以内 ・スクエアサイズ (正方形) は 1 辺が 30cm 以上 50cm 以内 ・組写真は 1 パネル (90cm × 180cm 以内) に全作品を固定 ・作品はパネル貼りし、額装は禁止 (ガラス、アクリル装着、金属、プラスチック、木材などによる枠取り不可) | <ul style="list-style-type: none"> ・あわぎんホール (県郷土文化会館) のエレベーターに収容可能な大きさ ・100kg 以内 ・展示に危険を伴わないもの |
| 入賞 | <ul style="list-style-type: none"> ・放美賞 各部門 1 点 ・優秀賞 出品点数 25 点につき 1 点 ・梅岡トヨ賞 各部門 1 点 (高校生・高専生の入選者から選出) | | | |

| 部門 区分 | 美術工芸 | 書道 | デザイン |
|----------------|--|---|--|
| 登録受付期限 | 平成 26 年 4 月 11 日 (金) | | |
| 搬入日 | 平成 26 年 4 月 29 日 (火・祝) | | |
| 搬入場所 | あわぎんホール (県郷土文化会館) 3 階展示室 | | |
| 審査日 | 平成 26 年 4 月 29 日 (火・祝) | | |
| 審査員 | 橋 惠 松下 雄介 斎藤 和彦 | 山口 華城 亀石 文苑 前川 古舟 | 福井 章 斎藤 繁次 北島 豊嗣 |
| 出品料 | 1 点目 3,000 円 2 点目・3 点目各 1,000 円 高校生・高専生・大学生・専門学校生は 1 点 1,000 円 | | |
| 応募資格・ 出品制限等 | ・未公開作品に限る ・高校生以上 ・県内外不問 ・作品のみ送付は不可 ・1 人 3 点以内 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・木・竹・金工・陶磁・漆・染色・織物・人形・ガラス等 ・立体作品 50 立方cm換算以内 (縦×横×奥行がそれぞれ 100cm 以内で 125,000 立方cm以内) ・平面作品 150 平方cm換算以内 (縦×横がそれぞれ 180cm、150cm 以内で 22,500 平方cm以内) ・展示可能な用具を必ずつけ、前後がわかるように明示すること | <ul style="list-style-type: none"> ・0.85 m² 以内 (例 / 半切 + 半切 4 分の 1、全紙 2 分の 1) ・額装 ・裏面に吊り紐 ・申込書に種別を、裏面に釈文を記載のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・グラフィックデザインに限るとし、原画の材質は問わない ・B1 サイズ (728mm × 1,030mm) で厚さ 5mm から 75mm 以内、外枠 (幅 20mm 以内) を含めた重さが 5kg 以内 ・ガラス額装は不可 ・実在の商品名、会社名の使用は不可 (著作権、肖像権に抵触しないこと) ・裏面に吊り紐 |
| 入賞 | <ul style="list-style-type: none"> ・放美賞 各部門 1 点 ・優秀賞 出品点数 25 点につき 1 点 ・梅岡トヨ賞 各部門 1 点 (高校生・高専生の入選者から選出) | | |

- 注 1) 入選数は出品点数に応じた規定数とする
 2) 選外作品及び展示作品は各部門の決められた日時までに搬出すること
 3) 所定の期日までに搬出しなかった作品は出品者の送料負担 (梱包料金) で返送する

第 69 回徳島県美術展記録

会 期 第 1 期 平成 26 年 10 月 11 日 (土) ~ 19 日 (日)

第 2 期 平成 26 年 10 月 21 日 (火) ~ 28 日 (火)

会 場 あわぎんホール (徳島県郷土文化会館)

日本画

[審査員] 上村 淳之

[特別出品] 西野 和男

[招待] 岡 英彦 土方るみ子 土井 洋子 中西 芳雄 日浦 猛史

[無監査] 梶浦 千瑞

[賛助出品] 長谷 壽

[遺作] 中川 健

[特選] 清水佳代子 (徳島県知事賞)

亀井 純子

[準特選] 宮越 千佳 柳田 一子 石動 智子

[奨励賞] 天羽 弘毅 井上 弘子 坂 容子

[入選] 有井 和子 鈴木 妙花 大久保優子 植田 忠生⁽²⁾ 森本 秀代

富永 博子 澤 真弓 吉田 満子⁽²⁾ 石原 千鶴 西岡 ちほ

森崎 雅子 岩脇 恵子 新居麻里子 久保 守近 齋藤 久男

秋月ヒサヨ 藤井 吉信⁽²⁾ 谷 尚武

洋画

[審査員] 池田 清明

[特別出品] 榊田 務

[招待] 清水 巫悞 楠瀬 等 露口 敏幸 長尾 弘久

[賛助出品] 黒崎 志郎 松川 寛 中辻奈美枝

[特選] 楠 明寿香 (県議会議長賞)

佐藤 敬子 井原 亘

[準特選] 浦川 起世 三木 洋子 玉田 秀子 田浦 佳江 谷口 克子

前野 亮治

[奨励賞] 近藤 克子 富浦 道子 黒島 貞子 市橋 美緒 日野 邦恵

[入選] 中山 清一 石幸 忠雄 島村 英之 梅津美砂代 下内 一弘

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 伊勢 浩章 | 前川フキ子 | 美馬 匠吾 | 林 敏雄 | 大串 直行 |
| 竹原 良亮 | 大坪潤一郎 | 眞鍋たえ子 | 大久保芳和 | 野口 義仁 |
| 久保 和子 | 藤井 文明 | 島田 純江 | 中村 芽生 | 笹田 義宏 |
| 田中 敏雄 | 富岡 晴恵 | 杉本 祥子 | 渡辺カツコ | 増井 厚子 |
| 阿部 幸子 | 原 静子 | 岩井 春美 | 川人 則子 | 林 静代 |
| 山口 明美 | 遠藤 博之 | 久米 政雄 | 坂東 富恵 | 瀬川 政子 |
| 坂東 悦子 | 野口 暁子 | 小笠原秋子 | 高橋 照子 | 福良 哲子 |
| 岡本 英見 | 福本 恵 | 白草 由子 | 前川 富子 | 青木 幸子 |
| 結城 栄子 | 中島 洋子 | 倉橋 紀子 | 西川 周三 | 井内美智代 |
| 田中シゲミ | 小泉真由美 | 吉田 玲子 | 阿部 昌子 | 赤松 伸一 |
| 柏木 安代 | 野村 雅子 | 河本多恵子 | 犬伏美智子 | 富田 君子 |
| 細谷 孝子 | 武田 洋子 | 土橋 正子 | 西川 敬子 | 脇本 清美 |
| 住友 政雄 | 三谷ミヤ子 | 馬淵 尚子 | 島津 千尋 | 瀧田八重子 |
| 細川 禮子 | 山口 雅弘 | 乾 弥生 | 宮内 一子 | 早内 陽子 |
| 近藤 栄克 | 岸本 花子 | 中野 芳輝 | 宮田 京子 | 平山 倫子 |
| 新藤佐代子 | 菊本 静子 | 野上 恵子 | 中村 俊夫 | 阿部 末美 |
| 平木 雅代 | 橋本 健男 | 鈴木 敬子 | 西川 照美 | 佐々木公子 |
| 藤川 愨 | 岩佐 孝男 | 林 文子 | 田中 康子 | 丸関 朋子 |
| 岩井 千晴 | 横関 義弘 | 小泉たか子 | 原 たず | 小浜 敏也 |
| 嵯峨 潤三 | 岡田 典子 | 大西 道夫 | 二條 均 | 藤原 知世 |
| 藤井 博之 | 長坂 芳子 | 益田 耕次 | 加川由紀子 | 藤井 香世 |
| 藤本 千秋 | 小笠 正明 | 鈴江陽一郎 | 山岡茉由子 | 大西 文代 |
| 齋藤 裕介 | | | | |

写 真

| | | | | | |
|--------|---------------|-------|-------|-------|-------|
| [審査員] | 織作 峰子 | | | | |
| [特別出品] | 櫛淵 魏 | 上野 照文 | | | |
| [招待] | 木田 英之 | 勝西 雅夫 | 三好 和義 | 森 賢一 | 橋本 圭祐 |
| | 前浦 芳久 | 林 敏彦 | 古井 謙吉 | 井藤 光章 | 増田 寿 |
| | 柳本 正 | 大和 健司 | 船越 正文 | 堀淵 完治 | 岩崎 英昭 |
| | 久保 英樹 | 堀口 幸男 | 森住 博 | | |
| [無監査] | 川真田慶治 | 平野 史子 | | | |
| [特選] | 賀川 泰広 (県教育長賞) | | | | |
| | 岩本 宏子 | 藤井 邦博 | 大和 章人 | | |

| | | | | | |
|-------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| [準特選] | 鳥井 敬一 | 大津 勝治 | 常陸 章 | 大塚 尚 | 福井 純子 |
| | 梅本 貞範 | 井上 憲治 | 吉村 敏嗣 | 鍋島治世子 | |
| [奨励賞] | 織野 明弘 | 上野 博子 | 前川わかな | 石本 隆二 | 平澤 澄子 |
| | 橋本 雅子 | 小原 英児 | 渡邊 信二 | | |
| [入選] | 妹尾 隆浩 | 櫛淵 紳哉 | 宮本 幸治 | 遠藤 博敏 | 多川 静守 |
| | 大津 勝治 | 野藤みきよ ⁽²⁾ | 阿部千代恵 | 森内 昭男 | 田中 伸廣 ⁽²⁾ |
| | 四宮 清文 | 工藤 健志 | 梅本 貞範 | 大和 章人 ⁽²⁾ | 榎本 真悟 ⁽²⁾ |
| | 西岡 祥一 | 平澤 澄子 | 平澤 昭世 | 早渕 茂 | 吉村 敏嗣 |
| | 古字 智子 | 橋本 勝 | 増田 実 ⁽²⁾ | 原田 章一 | 森 光 |
| | 坂東 武志 | 阿部 啓三 ⁽³⁾ | 泉 清美 | 猪熊 恵子 | 多田 進 |
| | 福見 尚美 | 郡 利明 | 郡 訓子 | 上岡真紀代 | 山上 堯 ⁽²⁾ |
| | 山上 道子 | 榎本千代美 | 池田 啓子 ⁽²⁾ | 南 敦子 | 川西 明雄 |
| | 秋田 召旨 | 岸田 義市 | 西岡まゆみ | 島 祥子 | 鈴江 純史 |
| | 富岡佳代子 | 谷 ひづる | 熊谷美智子 | 高木 信昭 ⁽²⁾ | 山田 卓 |
| | 林 好一 | 佐野 和史 ⁽²⁾ | 幾田 茂仁 | 石川 徹雄 | 新居 庚 |
| | 福井 純子 ⁽²⁾ | 福井 邦博 | 久保 翠 | 野田 賢 | 村山 松子 |
| | 埴淵 節子 ⁽²⁾ | 斎藤 幹夫 | 篠原 治雄 | 水口 義行 ⁽³⁾ | 高曾根信義 ⁽²⁾ |
| | 中山 洋三 | 松崎 真弓 | 福居 幹夫 | 篠原 光彦 | 鳥井 敬一 |
| | 富吉 伸明 | 岡本さなえ | 古岡 友子 | 姫野 博司 | 賀川 泰広 |
| | 武地 雅 | 中尾 一元 | 長岡 和美 | 橋本 博美 | 前川わかな |
| | 守中 康人 | 藍野 茂樹 | 野口 佳一 | 森住 啓 | 喜多 昌弘 |
| | 宮前 稔 | 谷崎 泰司 | 竹内 一雅 | 岩本 宏子 | 高橋 一恵 |
| | 田中 栄子 | 庄野 和博 ⁽²⁾ | 福原 敏雄 | 米澤 正博 | 田村 泰弘 |

彫刻

| | | | | | |
|--------|-------|---------|----------------------|-------|-------|
| [審査員] | 村井 進吾 | | | | |
| [特別出品] | 河崎 良行 | 佐藤 隆 | | | |
| [招待] | 井下 俊作 | 鎌田 邦宏 | 松永 勉 | 居上 真人 | 上月 佳代 |
| [無鑑査] | 木村 大志 | | | | |
| [賛助出品] | 長岡 強 | | | | |
| [特選] | 二宮 治夫 | (徳島市長賞) | | | |
| [準特選] | 武田亜希子 | 高丸 公相 | | | |
| [奨励賞] | 森 七星 | 益田 耕次 | | | |
| [入選] | 長尾 敏子 | 秋山紗弥花 | 大貝 寿子 ⁽²⁾ | 尾崎 隆 | 岡田 朋 |

美術工芸

[審査員] 若山 裕昭

[特別出品] 七條猪三郎

[招待] 多智花佐代子 松下 雄介 松下 慶一 森 賢一 橋 惠
 犬伏 絢 斎藤 和彦 森 明治

[贊助出品] 中川 存 矢野 款一

[無監査] 藤井 哲信

[特選] 前野 亮治 (徳島新聞社長賞)
 斎藤 康男

[準特選] 近藤美佐子 原田 明實 矢野 藍游 松本 宏

[奨励賞] 尾藤 芳尚 長尾 敏子 大貝 貞雄

[入選] 吉田 陽子 鈴江 正子 中西 達也 四十宮年代 宮本 薫
 戸田 智 横井嘉世恵 平田志保子 阿部 巍 森 克江
 中島輝代子 板東 啓子 遠藤 好子 遠藤 勇 佐治 孝
 前田 道子 大貝 寿子 阿部まきみ 丸井 明 トリス・フリック
 向 紫 喜多 岩夫 島本 政子 丸居 哲雄 柴 純代
 伊丹 將博 平尾 静子 藍原 房補 小川 光 山村 明敬
 阿部 能則 山本 和子 家形笑美子 内藤 久子 手塚 健一
 龍木 秀子 高瀬 裕司 岡田 仁子 村上 綾子 山下壽美代
 元井 真紀 多田 雅子 清水 雄太 四宮 千代 福家眞一郎
 小林 鳳美 久保 英樹⁽²⁾ 田岡 昭美 稲富 弘明 穴山千代子
 美馬 吉彦 鮎合 秀子 石田 節子 小田 正子 加藤 伴江
 橋本 正子 石井 春夫 島田 良子 仁田 和子 筒井 節子
 武田 潤子 藤中 教代 旭 鈴代 細川ひとみ 野村 裕子
 田村栄一郎 田中木美子 平瀬 進也 河野 美枝 高橋 正昭
 西内 貞二 青木 壽美 藤川 三世 高松 正彦 下内 良一
 原田 明子 小林 清重 楠 博子 梶原 浩二 平井 恵子
 坂東 正子 戸島 裕明 谷口 武平 上久保佳子 麦倉 紀子
 松永 卓司 千葉 徹 真鍋 諭弘 泉 良子 村川 榮一

書道

| | | | | | | |
|--------|-----------------|-------|-------|-------|-------|--|
| [審査員] | 渡部 清 | 田頭 一舟 | 鈴木まつ子 | | | |
| [特別出品] | 西 南龍 | 春藤 大耿 | 荒井 彭仙 | | | |
| [招待] | 宮井 青雨 | 長原 皋聖 | 原田 霄月 | 芝原 醒鶴 | 前川 古舟 | |
| | 清水 桂月 | 美馬幾美賀 | 中谷 史子 | 長谷 美峰 | 川上 虹泉 | |
| | 日下 溪翠 | 岡島 順子 | 竹田 和代 | 山口 華城 | 藤若 美風 | |
| | 武市 鳴雲 | 中尾 勝子 | 富久 鳴泉 | 永松 春苑 | 島田 小園 | |
| | 坂本 霄風 | 浜 佳香 | 隅田 英二 | 多田 清芳 | 玉城 乾香 | |
| | 薄田 玲泉 | 能仁 華瑤 | 高田 青蓮 | 三浦富美代 | 宇山 泰鳳 | |
| | 亀石 文苑 | 岩本 志豪 | 林 桂翠 | 山口 幽徑 | | |
| [無鑑査] | 米澤 東籬 | 谷本 藍泉 | 戸出 芳泉 | 林 美雪 | | |
| [賛助出品] | 東 南光 | | | | | |
| [遺作] | 近藤 静苑 | | | | | |
| [特選] | 河野多美子 (四国放送社長賞) | | | | | |
| | 郡 彩佳 | 駒田 澄子 | 矢部 知子 | 岡本 美佳 | 向井 京子 | |
| | 遠藤玻都恵 | 玉城 若菜 | | | | |
| [準特選] | 松永 浩子 | 篠山 秀子 | 村上 大吾 | 米倉由加里 | 佐々 京子 | |
| | 石井 瞳 | 澤本 鈴美 | 野木 友美 | 糀 真理子 | 賛田美恵子 | |
| | 詫間 勝子 | 平岡 郁子 | 吉田さい子 | 中川 博雅 | | |
| [奨励賞] | 近藤 紀子 | 服部 弘子 | 石田 杏奈 | 佐野 陽子 | 三好 啓子 | |
| | 小林 義治 | 町田 哲子 | 田村富士子 | 東 弥生 | 大井 多栄 | |
| | 竹川 秀穂 | 篠野 未歩 | 村田 泰輝 | | | |
| [入選] | 近代詩文の部 | | | | | |
| | 坂東 裕美 | 日野美佐子 | 藤本 優子 | 藤原 一子 | 前田 美穂 | |
| | 正見 千恵 | 松岡 文子 | 丸岡 良子 | 丸田 三恵 | 向井 通子 | |
| | 森 繁子 | 森浦 和子 | 森岡嗣雅子 | 森本知世子 | 森本 陽子 | |
| | 吉野 美保 | 若林 節子 | 和田 悦代 | 和田富美子 | 朝三 和子 | |
| | 生野 久美 | 今治 宏美 | 居和城幸代 | 岩崎 麻美 | 遠藤 禎子 | |
| | 大石 正 | 大西千鶴子 | 岡崎 啓子 | 樫山 正代 | 川下小夜子 | |
| | 川端喜美子 | 岸 緑 | 木田 史子 | 金城 泰子 | 栗山 弘子 | |
| | 幸田 康代 | 児玉 幸子 | 坂尾 俊一 | 佐藤 恵子 | 佐藤マスマ | |
| | 清水美津子 | 高瀬 善郎 | 高橋 三紀 | 武田 淳子 | 玉城 安和 | |
| | 玉城 豪 | 田村 知恵 | 富本 勲 | 中野 美恵 | 長尾由美子 | |
| | 長原 七与 | 仁木シモエ | 野田 満代 | 真鍋千代子 | | |

前衛の部

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 大胡恵里香 | 長崎 香 | 阿部 公恵 | 大胡 真美 | 仁尾 みや |
| 水野 知子 | 前川わかな | 井内 梨加 | 河野 りさ | 荒川 裕介 |
| 福原 淳史 | 友廣 佳奈 | 梶川 佳奈 | 永井 厚子 | 大西 英徳 |
| 島尾 明良 | 佐藤由紀代 | 中川 富量 | 義富 博正 | |

漢字の部

| | | | | |
|--------|--------|-------|-------|-------|
| 勝浦 美和 | 忠津 安子 | 由宇 典代 | 恵内 貞子 | 川村 真澄 |
| 中村 美子 | 谷泉 花子 | 土井 和也 | 久米 利典 | 谷 令子 |
| 南 知枝 | 谷口 統雄 | 木内 文子 | 清水 宏子 | 渡部 敦子 |
| 高松 輝子 | 西野 道夫 | 細井 守 | 石川 房子 | 久保 豊秀 |
| 坂田 貴子 | 若江 智 | 盛 知子 | 青木 義人 | 石川 翔子 |
| 岡 歩美 | 佐野恵美子 | 關山 光 | 立石 充 | 仲道 裕馬 |
| 丸瀬 裕史 | 米澤 淳美 | 粟田 正治 | 上田美千代 | 川辺 光俊 |
| 豊浦 佳子 | 花本ふくみ | 佐藤美智子 | 八木 澄江 | 井上 真梨 |
| 寺田 美穂 | 妹尾 寛子 | 井野めぐみ | 井内 久子 | 三好 元子 |
| 後藤田美智恵 | 浅川 陽子 | 野口 有香 | 藤永 真里 | 谷本真由美 |
| 平田 真紀 | 森本真由美 | 横田 典子 | 福家 佳余 | 山下弥栄子 |
| 稲井 知子 | 日野出夏穂 | 弘田 敏章 | 中西 淑子 | 田上 洋子 |
| 片山 芳明 | 鈴木エリ子 | 宮脇 郷子 | 秦 知美 | 吉田 有子 |
| 丸岡 由美 | 牧野ヨシミ | 川村友紀恵 | 山口 幸子 | 大本由紀子 |
| 一宮 明美 | 恵 美恵子 | 伊達三智子 | 島 智子 | 立石 泰生 |
| 高柳 由美 | 荒井 和子 | 田中 利子 | 磯川 味佳 | 瀬山奈緒美 |
| 奥田 仁美 | 川道 伸弘 | 尾形三千代 | 七條 郁子 | 河野 由紀 |
| 岡 幸江 | 長井あゆみ | 鴻野千賀子 | 阿部 千明 | 遠藤 典子 |
| 鎌谷 幸代 | 森 和子 | 日下 真宏 | 安友 彰子 | 仁木 輝実 |
| 藤山真由里 | 鳩成 広美 | 谷 弘美 | 後藤 紀代 | 熊代 厚子 |
| 近藤 美香 | 西岡田さつき | 宇山 和治 | 青木 博美 | 吉村 敬子 |
| 藤村 恭子 | 大塚 洋子 | 沖田 章代 | 東條 裕子 | 木村 礼子 |
| 郡 秋江 | 永岡ツタエ | 斎藤 裕子 | 椎野 薫 | 山内希与子 |
| 中尾三智子 | 吉平 順子 | 坂本 敬子 | 節 品子 | 河野久美子 |
| 河野 永子 | 小林 忠志 | 田中 偉嗣 | 庄野 修一 | 片山 保 |
| 吉田 幸代 | 奥田 文子 | 中川恵美子 | 柳本 真弓 | 上野 益代 |
| 三崎美佐代 | 笠原 笑子 | 村部 幸子 | 陶久 房枝 | 杉本 妙子 |
| 岡本美津代 | 西改 俊子 | 大下 富江 | 大野シゲ子 | 四宮 仁美 |
| 久積富美子 | 折野 茂幸 | 四宮 恭子 | 福永久美子 | 四宮 千春 |

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 中川 泉 | 安原美保子 | 後藤 佳美 | 安原 照代 | 辻 尚子 |
| 大住諭紀仁 | 米澤 実穂 | 山城美三子 | 丸岡 真弓 | 仁木 福代 |
| 鎌田 末子 | 松本 雍司 | 守田 禎子 | 山中 佳子 | 中川 博雅 |
| 脇 博 | | | | |

篆刻の部

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 田淵 勲 | 青木 幸代 | 金谷 亜希 | 仁木恵美子 | 松村 史子 |
| 横田 雅夫 | 蓑毛 真琴 | 田村 憲正 | 川道 伸弘 | 渡邊 浩樹 |

仮名の部

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 背川 章子 | 井上 まり | 吉田 純 | 竹内 英子 | 河野紀代子 |
| 上田 久恵 | 山本 美幸 | 佐川 公子 | 宮守 とみ | 山蔭 和代 |
| 関 藤子 | 樫原 知義 | 倉本 節子 | 稲江 司子 | 福村喜代子 |
| 原口 栄子 | 大西 順子 | 新納 房子 | 楠瀬 恭子 | 松本由希子 |
| 水口 久枝 | 竹中 敏恵 | 皆谷 露子 | 井上 彰夫 | 遠藤 由子 |
| 住友 裕子 | 高橋加奈子 | 遠藤 孝子 | 森 裕美子 | 内田美代子 |
| 向井 絵美 | 佐藤 成美 | 篠賀 知代 | 坂本 恵美 | 土佐 朱美 |
| 今津 英子 | 堀江奈菜子 | 平尾 卓美 | 根木屋和代 | 齋藤 弥生 |
| 日下壽美子 | 桑村 美慧 | 森 眞美 | 伊藤 秀子 | 村田登志子 |
| 坂本 敬子 | 松下 智子 | 寺尾 俊通 | 中村 公子 | 金子 博明 |
| 井上小百合 | 杉本 裕子 | 阿部 博子 | 山本 恵子 | 古谷 和代 |
| 中田須美子 | 河野 静江 | 笹田 真里 | 鈴江美音子 | 中谷つや子 |
| 藤原 育代 | 出口末喜子 | 向井 境子 | 折野 佳子 | 畠山 政子 |
| 脇坂 優 | 田岡佐記子 | 笠原小夜子 | 内田 麻紀 | 有持恵美子 |
| 原田 葉子 | 吉田 好孝 | 加村喜美子 | 和泉かず子 | 山橋不二子 |
| 中川 年代 | 高木美賀子 | 濱井 光代 | 藤井三樹子 | 菖蒲 和代 |
| 吉田 裕美 | 喜多美千代 | 久住 律子 | 近藤真千子 | |

デザイン

[審査員] 秋山 孝

[特別出品] 坂本三千一 福井 章 田中 一郎

[招待] 斎藤 繁次 坂野美恵子 敷島のり子

[無鑑査] 四十宮隆志

[特選] 岡田 典子 (県美術家協会会長賞)

| | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| | 齋藤 剛 | | | | | |
| [準特選] | 梶浦 千瑞 | 吉村 敏嗣 | 安友理利子 | | | |
| [奨励賞] | 林 敏雄 | 板東 未記 | 井原 亘 | | | |
| [入選] | 齋藤志津子 | 埴淵 照二 | 宗本真里奈 | 小川 菜々 | 熊倉 舞 | |
| | 松島 早紀 | 田中見那美 | 三木ひより | 粟飯原早希 | 田中 綾乃 | |
| | 篠原 愛莉 | 益田 幸歩 | 小村 智美 | 北野梨夏子 | 田村 あい | |
| | 緒方 友子 | 粟飯原純佳 | 佐藤絵理奈 | 小田 早姫 | 流 ひかり | |
| | 高丸 公相 | 石川巴瑠奈 | 秋山 茉莉 | 須崎 上総 | 佐々木奏美 | |
| | 佐藤 史織 | | | | | |

第 69 回徳島県美術展出品・入選等状況

| 部門 | | 日本画 | 洋画 | 写真 | 彫刻 | 美術工芸 | 書道 | デザイン | 計 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 区分 | | | | | | | | | |
| 出品点数 | | 47 | 285 | 583 | 20 | 166 | 805 | 57 | 1,963 |
| 出品者数 | | 44 | 218 | 226 | 19 | 120 | 494 | 44 | 1,165 |
| 入賞・入選 | 特別賞 | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (7) |
| | 特選 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 8 | 2 | 22 |
| | 準特選 | 3 | 6 | 9 | 2 | 4 | 14 | 3 | 41 |
| | 奨励賞 | 3 | 5 | 8 | 2 | 3 | 13 | 3 | 37 |
| | 入選数 | 21 | 116 | 112 | 7 | 91 | 328 | 26 | 701 |
| | 計 | 29 | 130 | 133 | 12 | 100 | 363 | 34 | 801 |
| | 入選率 | 61.7 | 45.6 | 22.8 | 60.0 | 60.2 | 45.0 | 59.6 | 40.8 |
| 選外 | 落選数 | 18 | 155 | 450 | 8 | 66 | 442 | 23 | 1,162 |
| | 落選率 | 38.3 | 54.4 | 77.2 | 40.0 | 39.8 | 55.0 | 40.4 | 59.2 |
| 無審査出品 | 特別出品 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | 3 | 13 |
| | 招待 | 5 | 4 | 18 | 5 | 8 | 34 | 3 | 77 |
| | 無鑑査 | 1 | 0 | 2 | 1 | 1 | 4 | 1 | 10 |
| | 賛助出品 | 1 | 3 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 8 |
| | 遺作出品 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 計 | | 9 | 8 | 22 | 9 | 12 | 43 | 7 | 110 |
| 展示数 | | 38 | 138 | 155 | 21 | 112 | 406 | 41 | 911 |

※各部門の特選数は特別賞 1 点を含む

第 69 回徳島県美術展公募規定

| 部門 区分 | 日本画 | 洋画 | 写真 | 彫刻 |
|--------------|---|---|---|--|
| 搬入日 | 9月28日(日) | 9月27日(土) | 10月5日(日) | 9月28日(日) |
| 搬入場所 | あわぎんホール(県郷土文化会館)3階展示室 | | | |
| 審査日 | 9月28日(日) | 9月28日(日) | 10月5日(日) | 9月28日(日) |
| 審査員 | 上村 淳之 | 池田 清明 | 織作 峰子 | 村井 進吾 |
| 出品料 | 協会員1点目 3,500円 その他の方 4,500円 高校生 2,500円 2点目からはすべて 1,500円 | | | |
| 出品制限・大きさ・仕上げ | <ul style="list-style-type: none"> ・未公開作品に限る ・写真部門は1人3点まで、その他の部門は点数に制限なし ・小・中学校在学者は出品できない | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・70cm×47cm(額縁を除く)以上でタテ、ヨコの一边が190cm(額縁を含む)以内 ・アクリル・ガラス等で画面を覆わない ・額装 ・裏面に吊り紐 | <ul style="list-style-type: none"> ・20号～60号までとする ・S型は30号までを上限とし、版画は10号以上とする ・アクリル・ガラス等で画面上を覆わない(水彩画、版画はアクリルに限って認める) ・額・吊り紐は必ず付け、保管・展示等に支障がない作品とすること | <ul style="list-style-type: none"> ・組・単とも半切及びA3から全倍サイズで画面の長辺が40cm以上90cm ・スクエアサイズ(正方形)は一片が30cm以上50cm ・無鑑査以上は上記サイズの単写真に限る ・パネル張りに限る ・額装及び枠取り不可 ・組写真は1パネル(90cm×180cm以内)に全作品を固定 | <ul style="list-style-type: none"> ・高さ2m×幅1.5m×奥行1.5m以内 ・重量200kg以内 ・材料等は自由、展示可能のものに限る |
| 入賞 | 特選 2点 準特選 3点 奨励賞 3点 | 特選 3点 準特選 6点 奨励賞 5点 | 特選 4点 準特選 9点 奨励賞 8点 | 特選 1点 準特選 2点 奨励賞 2点 |

| 部門 区分 | 美術工芸 | 書道 | デザイン |
|--------------|---|---|--|
| 搬入日 | 9月28日(日) | 10月3日(金) | 10月5日(日) |
| 搬入場所 | あわぎんホール(県郷土文化会館)3階展示室 | | |
| 審査日 | 9月28日(日) | 10月4日(土) | 10月5日(日) |
| 審査員 | 若山 裕昭 | 渡部 清・田頭 一舟・鈴木まつ子 | 秋山 孝 |
| 出品料 | 協会員1点目 3,500円 その他の方 4,500円 高校生 2,500円 2点目からはすべて 1,500円 | | |
| 出品制限・大きさ・仕上げ | <ul style="list-style-type: none"> ・未公開作品に限る ・写真部門は1人3点まで、その他の部門は点数に制限なし ・小・中学校在学者は出品できない | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・立体作品は、50cm立法換算以内(たて×よこ×おくゆきが125,000立方cm以内)とする 但し、たて100cm・よこ100cm・おくゆき100cm以内とする ・平面作品は、150cm平方換算以内(たて×よこが22,500平方cm以内)とする 但し、たて180cm・よこ150cm以内とする ・木・竹・金工・陶磁・漆・染色・織物・人形・ガラス等 ・展示できる用具をつける | <ul style="list-style-type: none"> ・半切又は全紙ヨコ1/2以上、仕上がり面積1.47㎡(16平方尺)以内でタテ、ヨコ自由 ・卷子本・帖は40cm×300cm以内 ・篆刻は印影とし、タテ39cm×ヨコ30cm以内の額装に限る (例) 61cm(2尺)×242cm(8尺) 枠張 79cm(2.6尺)×181cm(6尺) 枠張 91cm(3尺)×161cm(5.3尺) 枠張 121cm(4尺)×121cm(4尺) 枠張 ・半切・全紙1/2・迎落まで額装、アクリル入りでもよい ・無鑑査以上の出品者は半切・全紙1/2以内、横幅90cm以内とする ・部門は、漢字・篆刻・仮名・近代詩文書・前衛 ・それぞれ釈文をつけること | <ul style="list-style-type: none"> ・B1サイズ(728mm×1,030mm)で厚さ5mm～75mm、外枠(幅20mm以内)を含めた重さが5kg以内 ・グラフィックデザインとし、原画の材質は問わない ・ガラス額装は不可 ・実在の商品名、会社名等の使用は不可 ・著作権、肖像権に触れないこと ・吊り紐 |
| 入賞 | 特選 2点 準特選 4点 奨励賞 3点 | 特選 8点 準特選 14点 奨励賞 13点 | 特選 2点 準特選 3点 奨励賞 3点 |

- 注 1) 入選数は出品点数に応じた規定数とする
 2) 選外作品及び展示作品は各部門の決められた日時までに搬出すること
 3) 所定の期日までに搬出しなかった作品は出品者の送料負担(梱包料金)で返送する

徳島県美術展審査員一覧

| 回数 | 部門 | 日本画 | 洋画 | 写真 | 彫刻 (46回まで彫刻) |
|----|----|---------|----------------|----------------------------|----------------------|
| 1 | | 委員 | 野間 仁根 仁根 三郎 | 委員 | |
| 2 | | 大栗 旌 折 | 野間 仁根 | 上田 備山 | 太坂 田三郎 東 三郎 美 |
| 3 | | 委員 | 伊原 宇三郎 | 同上 | 太坂 田三郎 鹿内 三郎 美 |
| 4 | | 委員 | 須田 国太郎 | 同上 | 同上 |
| 5 | | 上村 松 篁 | 田村 孝之介 | 小野 由行 | 太坂 田三郎 東 三郎 美 |
| 6 | | 西山 英雄 | 伊藤 継 郎 | 川崎 亀太郎 | 同上 |
| 7 | | 山口 華 楊 | 田川 勤 次 | 棚橋 紫 水 | 新田 藤太郎 |
| 8 | | 池田 遙 村 | 須田 剋 太 | 同上 | 太坂 田三郎 東 三郎 美 |
| 9 | | 水田 竹 圃 | 小出 卓 二 | 同上 | 同上 |
| 10 | | 管 楯 彦 | 鯨 喬 仁 大根 | 同上 | 同上 |
| 11 | | 奥村 厚 一 | 井上 長三郎 | 岩宮 武 二 | 同上 |
| 12 | | 浜田 覬 | 福沢 一 郎 | 棚橋 紫 水 | 同上 |
| 13 | | 小松 均 | 藤井 令太郎 | 同上 | 辻 東 晋 美 |
| 14 | | 秋野 不 矩 | 針生 一 郎 | 岩宮 武 二 | 針生 一 郎 |
| 15 | | 奥村 厚 一 | 向井 潤 吉 | 棚橋 紫 水 | 管沼 五 郎 |
| 16 | | 同上 | 吉原 治 良 | 岩宮 武 二 | 柳原 義 達 |
| 17 | | 松尾 冬 青 | 中谷 泰 | 同上 | 向井 良 吉 |
| 18 | | 矢野 鉄 山 | 池島 勘治郎 | 同上 | 安田 周三郎 |
| 19 | | 中村 貞 以 | 森 芳 雄 | 堀内 初太郎 | 堀内 正 和 |
| 20 | | 曲子 光 雄 | 桂 ヌキ子 | 岩宮 武 二 | 植木 茂 |
| 21 | | 沢野 文 臣 | 伊谷 賢 蔵 | 同上 | 佐藤 忠 良 |
| 22 | | 堂本 阿岐羅 | 村井 正 誠 | 同上 | 辻 晋 堂 |
| 23 | | 松岡 政 信 | 山下 大五郎 | 同上 | 井上 武 吉 |
| 24 | | 山崎 忠 明 | 大沢 昌 助 | 棚橋 紫 水 | 菊池 一 雄 |
| 25 | | 奥村 厚 一 | 斉藤 真 成 | 同上 | 原 武 典 |
| 26 | | 梶 喜 一 | 島村 三七雄 | 同上 | 掛井 五 郎 |
| 27 | | 上原 卓 | 高田 誠 | 伊藤 知 己 | 松村 外次郎 |
| 28 | | 黒光 茂 樹 | 中間 冊 夫 | 岩宮 武 二 | 小島 広 志 |
| 29 | | 松岡 政 信 | 島田 章 三 | 同上 | 保田 春 彦 |
| 30 | | 黒光 茂 樹 | 田中 岑 | 岩宮 武 二 | 篠崎 明 雄 |
| 31 | | 河合 健 二 | 田中 忠 雄 | 同上 | 江口 週 |
| 32 | | 長谷川 青 澄 | 山口 長 男 | 岩宮 武 二 岩宮 武 二 岩宮 武 二 | 一色 邦 彦 |
| 33 | | 松岡 政 信 | 吉井 忠 | 岩宮 武 二 | 柳原 義 達 |
| 34 | | 山岸 純 | 小西 保 文 | 岩宮 武 二 | 清水 九兵衛 |
| 35 | | 樋笠 数 慶 | 荻 太 郎 | 同上 | 桜井 祐 一 |

| 美術工芸 | 書道 | デザイン (37回まで商業美術) |
|---------------|-------------------------------|---------------------|
| 鬼塚信之 | 委員 | |
| 同上 | 田中白村 | |
| 同上 | 炭山南木 | |
| 同上 | 炭山南木・織田子青 | |
| 同上 | 手島右卿 | |
| 鬼塚信之 新田藤太郎 | 同上 | |
| 鬼塚信之 | 小坂奇石 | |
| 明石朴景 | 辻本史邑 | |
| 会田裕宣 | 織田子青(漢)・出口草露(仮) | |
| 鴨政雄 | 松井恕流 | |
| 近藤悠三 | 荒田井中天鶴・後藤藤中泰稔・秀・後藤田香石 田中双鶴 | |
| 平松宏春 | 同上 | |
| 同上 | 荒田井中天鶴・後藤藤中泰稔・秀・後藤田香石 田中双鶴 | |
| 大西忠夫 | 荒田井中天鶴・後藤藤中泰稔・秀・後藤田香石 田中双鶴 | |
| 明石朴景 | 同上 | |
| 平松宏明 | 同上 | |
| 大西忠夫 | 同上 | |
| 鴨政雄 | 同上 | |
| 平松宏春 | 同上 | |
| 内田邦夫 | 同上 | |
| 山脇洋二 | 同上 | |
| 槻尾宗一 | 同上 | |
| 山脇洋二 | 荒田井中天鶴・後藤藤中泰稔・秀・田中栢翠 | |
| 藤本能道 | 同上 | |
| 三井安蘇夫 | 同上 | 金野弘 |
| 六角顯雄 | 同上 | 大智浩 |
| 鈴木貫爾 | 同上 | 早川良雄 |
| 田村耕一 | 同上 | 原弘 |
| 山脇洋二 | 荒田井中天鶴・後藤藤中泰稔・秀・田中双鶴 | 田中一光 |
| 浅野陽 | 同上 | 奥野秀雄 |
| 前田泰次 | 同上 | 灘本唯人 |
| 山脇洋二 | 同上 | 大高猛 |
| 中村光哉 | 荒田井中天鶴・久保幽香・讚岐泰泉・田中双鶴 田中栢翠 | 福田繁雄 |
| 山脇洋二 | 同上 | 永井一正 |

| 回数 | 部門 | 日 本 画 | 洋 画 | 写 真 | 彫 刻 (46回まで彫塑) |
|----|----|---------|---------|--------------------|------------------|
| 36 | | 坂 口 麻沙子 | 吉 井 淳 二 | 岩 宮 武 二 | 土 谷 武 |
| 37 | | 下 田 義 寛 | 野見山 暁 治 | 同 上 | 山 本 正 道 |
| 38 | | 同 上 | 須 田 寿 | 高 田 誠 三 | 清 水 九兵衛 |
| 39 | | 同 上 | 斉 藤 真 一 | 同 上 | 城 田 孝一郎 |
| 40 | | 下 保 昭 | 津 高 和 一 | 岩 宮 武 二 高 田 誠 三 | 清 水 良 治 |
| 41 | | 橋 田 二 朗 | 小松崎 邦 雄 | 奈良原 一 高 | 淀 井 敏 夫 |
| 42 | | 松 本 哲 男 | 国 領 經 郎 | 岩 宮 武 二 | 木 津 一 夫 |
| 43 | | 山 岸 純 | 利根山 光 人 | 三 木 淳 | 橋 本 省 |
| 44 | | 平 川 敏 夫 | 赤 穴 宏 | 高 田 誠 三 | 山 崎 猛 |
| 45 | | 福 井 爽 人 | 桜 井 寛 | 三 木 淳 | 土 谷 武 |
| 46 | | 岩 沢 重 夫 | 大 森 朔 衛 | 同 上 | 峯 田 敏 郎 |
| 47 | | 穂 田 一 稗 | 谷 本 重 義 | 立 木 義 浩 | 小 島 弘 |
| 48 | | 田 淵 俊 夫 | 大 沼 映 夫 | 杵 島 隆 | 建 島 覚 造 |
| 49 | | 中 路 融 人 | 馬 越 陽 子 | 同 上 | 綿 引 道 郎 |
| 50 | | 下 田 義 寛 | 三 栖 右 嗣 | 奈良原 一 高 | 古 島 実 |
| 51 | | 工 藤 甲 人 | 中 根 寛 | 斉 藤 康 一 | 恩 田 静 子 |
| 52 | | 那波多目 功一 | 松 樹 路 人 | 細 江 英 公 | 石 井 厚 生 |
| 53 | | 那 須 勝 哉 | 藤 田 吉 香 | 高 田 誠 三 | 香 浦 有 爾 |
| 54 | | 内 田 あぐり | 奥 谷 博 | 同 上 | 小 林 陸一郎 |
| 55 | | 松 尾 敏 男 | 佐々木 豊 | 大 石 芳 野 | 日 原 公 大 |
| 56 | | 山 崎 隆 夫 | 大 津 英 敏 | 同 上 | 石 黒 鏘 二 |
| 57 | | 岩 本 和 夫 | 山 本 貞 | 細 江 英 公 | 原 武 典 |
| 58 | | 大 矢 紀 | 福 島 瑞 穂 | 江 成 常 夫 | 菅 原 二 郎 |
| 59 | | 竹 内 浩 一 | 中 山 忠 彦 | 大 石 芳 野 | 米 林 雄 一 |
| 60 | | 小 嶋 悠 司 | 絹 谷 幸 二 | 江 成 常 夫 | 北 郷 悟 |
| 61 | | 宮 廻 正 明 | 山 本 文 彦 | 同 上 | 鈴 木 久 雄 |
| 62 | | 能 島 和 明 | 島 田 鮎 子 | 英 伸 三 | 中 垣 克 久 |
| 63 | | 雲丹亀 利 彦 | 桜 井 寛 | 田 沼 武 能 | 林 武 史 |
| 64 | | 西 田 俊 英 | 塗 師 祥一郎 | 同 上 | 津 田 裕 子 |
| 65 | | 岡 村 倫 行 | 金 山 佳 子 | 三 好 和 義 | 建 島 朔 弥 |
| 66 | | 宮 いつき | 大 津 英 敏 | 江 成 常 夫 | 深 井 隆 |
| 67 | | 小 山 硬 | 笠 井 誠 一 | 大 石 芳 野 | 湯 村 光 |
| 68 | | 土 屋 禮 一 | 佐 藤 泰 生 | 大 石 芳 野 | 保 田 井 智 之 |
| 69 | | 上 村 淳 之 | 池 田 清 明 | 織 作 峰 子 | 村 井 進 吾 |

| 美術工芸 | 書道 | デザイン (37回まで商業美術) |
|-------|--|---------------------|
| 田村耕一 | 荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠 | 山城隆一 |
| 同上 | 同上 | 粟津潔 |
| 山下恒雄 | 荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠 | 田中一光 |
| 同上 | 同上 | 長友啓典 |
| 浅野陽 | 荒井天鶴・久保幽香・齋岐泰泉・春藤大耿・高原清泉 田中双鶴・田中栢翠・長江清幽・新居藍州・西岡楚峰 | 亀倉雄策 |
| 中村光哉 | 明石春浦・坪井正庵 | 伊藤憲治 |
| 浅野陽 | 桜井琴風・黒野清宇 | サイトウ・マコト |
| 山下恒雄 | 大岡皓崖・山田伍雲・西野象山 | 佐藤晃一 |
| 三浦小平二 | 花田峰堂・小山素洞・東地滄厓 | 河北秀也 |
| 松永勲 | 浅見綿龍・森本妙子・加藤大碩 | 松永真 |
| 山下恒雄 | 近藤摂南・東山一郎・中野北溟 | 浅葉克己 |
| 島田文雄 | 谷村憲齋・植村和堂・太田義久 | 勝井三雄 |
| 大西長利 | 安原阜雲・池田桂鳳・金子卓義 | 五十嵐威暢 |
| 山下恒雄 | 鈴木桐華・西本支星・金子聰松 | 青葉益輝 |
| 島田文雄 | 尾崎邑鵬・井茂圭洞・大井錦亭 | 松永真 |
| 中井貞次 | 栗原蘆水・榎倉香邨・種谷扇舟 | 安西水丸 |
| 栗木達介 | 甫田鷄川・小山やす子・石飛博光 | U. G. サトー |
| 宮田亮平 | 杭迫柏樹・藤木正次・吉田成堂 | 早川良雄 |
| 松永勲 | 津金孝邦・池田桂鳳・松永鳴石 | 戸田正寿 |
| 竹内順一 | 田中節山・村上俄山・黒田玄夏 | 杉浦康平 |
| 栗木達介 | 宮崎葵充・赤江華城・金子卓義 | 秋山孝 |
| 中井貞次 | 星弘道・宮重小蘭・西野象山 | 遠藤享 |
| 島田文雄 | 吉川蕉仙・清水透石・作田英嗣 | 中村誠 |
| 竹内順一 | 岩井韻亭・光宗道子・大井錦亭 | 小島良平 |
| 宮田亮平 | 伊藤天游・井茂圭洞・田岡正堂 | 永井一正 |
| 島田文雄 | 稲垣菘圃・横山煌平・船本芳雲 | 新島実 |
| 増村紀一郎 | 樽本樹邨・東山一郎・辻元大雲 | 三木健 |
| 石川充宏 | 真神巍堂・前島泉洲・長谷川牧風 | 松井桂三 |
| 竹内順一 | 鈴木春朝・山本高邨・砂本杏花 | 河北秀也 |
| 山下了是 | 大河内仙嶽・師田久子・飯高和子 | 勝井三雄 |
| 大樋年朗 | 土井汲泉・舟尾圭碩・百瀬大蕪 | 佐藤晃一 |
| 宮田亮平 | 西村自耕・岩永栖邨・西野象山 | 新村則人 |
| 豊福誠 | 今村桂山・横山煌平・森本龍石 | 福島治 |
| 若山裕昭 | 渡部清・田頭一舟・鈴木まつ子 | 秋山孝 |

徳島県美術展開催運営要項

第1条（名称・開催目的）

本展は徳島県美術展「以下（県展）という」と称し、広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより本県の芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

第2条（主催団体）

県展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

第3条（開催運営の組織）

県展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」で構成する。運営委員、事務局員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

【県展運営委員会】

運営委員会のメンバーは、県美術家協会の会長、副会長2名及び各部会から2名、徳島県から1名、徳島新聞社から2名の合計20名でこれを構成する。運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

1. 開催運営の基本事項について審議決定すること。
2. 審査員の推薦決定に関すること。
3. 審査方法、表彰に関すること。
4. 収支予算、決算の承認に関すること。
5. その他県展開催に必要なこと。

【県展事務局】

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社企画事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社3名の計4名で構成する。事務局の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

1. 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関すること。
2. 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備に関すること。
3. 審査員候補の下交渉、配宿、航空券の手配、審査日時、場所、接遇等に関すること。
4. 収支予算案の作成に関すること。
5. 開会式、表彰式の準備に関すること。
6. 広報PRに関すること。
7. その他県展開催の下準備に関すること。

第4条（出品部門）

県展の出品部門は、日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

第5条（展示作品）

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から次の作品とする。

1. 一般公募作品の中から主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。

2. 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

(1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。

◇次のものを無鑑査とする。

(1) 特選を連続3回得たもの。

(2) 年間を問わず特選を4回得たもの。

(3) 年間を問わず特選及び準特選を6回得たもの。（特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする）

(4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

◇次のものを特別出品とする。

(1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、名誉会長、参与、審査員及び各部の会長、顧問、参与。

(2) 各部の会長を永年勤めて実績があり運営委員会の議を得たもの。

（注）① 招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた事由がない限りその資格を失うものとする。

② 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

第6条（審査員）

審査員は県外審査員とする。審査員の選任は県美術家協会から一定数の人数を推薦し、この中から事務局で選任作業を行い、運営委員会の議を経て決定する。

第7条（審査）

審査は公開により行う。

第8条（入選、入賞数）

1. 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する場合があるが、原則として次の範囲内に止める。

| 区 分 | 特 選 | 特別賞（特選の中から1点） | 準特選 | 奨励賞 | 入 選 |
|---------|-----|-------------------------|-----|------|-------|
| 日 本 画 | 2 | 徳 島 県 知 事 賞 | 3 | 3 以内 | 規 定 数 |
| 洋 画 | 3 | 徳 島 県 議 会 議 長 賞 | 6 | 5 " | " |
| 写 真 | 4 | 徳 島 県 教 育 委 員 会 教 育 長 賞 | 9 | 8 " | " |
| 彫 刻 | 1 | 徳 島 市 長 賞 | 2 | 2 " | " |
| 美 術 工 芸 | 2 | 徳 島 新 聞 社 長 賞 | 4 | 3 " | " |
| 書 道 | 8 | 四 国 放 送 社 長 賞 | 14 | 13 " | " |
| デ ザ イン | 2 | 徳 島 県 美 術 家 協 会 長 賞 | 3 | 3 " | " |

※特別賞は各部門の中から最優秀作品1点に対し贈られるものです。

賞はいずれも同格で毎年部門により一つずつ変更し賞を贈ります。

2. 入賞は1部門1人1賞とする。

第9条（表彰）

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

1. 特 選……賞状、賞金
2. 準特選……賞状、賞金
3. 奨励賞……賞状、記念品
4. 入 選……全員に賞状

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

1. 徳島県知事賞 1名
2. 徳島県議会議長賞 1名
3. 徳島県教育委員会教育長賞 1名
4. 徳島市長賞 1名
5. 徳島新聞社長賞 1名
6. 四国放送社長賞 1名
7. 徳島県美術家協会会長賞 1名

◎特別賞の選考方法については別に定めるものとする。

第10条（収支予算）

県展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

1. 出品料
2. 入場料
3. 図録売り上げ代金及び広告料
4. 各種補助金

5. その他

県展の支出経費は事務局長の承認を経て行い、必ず証票をとり、毎年12月に決算を行い、運営委員会に報告し承認を得るものとする。

第11条（出品料・協賛費）

県展の出品料及び協賛費は次の通りとする。

1. 県美術家協会会員の出品料は、1点目3,500円、2点目から1点につき1,500円とする。
2. 一般の方の出品料は、1点目4,500円、2点目から1点につき1,500円とする。
3. 高校生の出品料は、1点目2,500円、2点目から1点につき1,500円とする。
4. 招待、無鑑査、特別出品者及びその他審査を受けない者の協賛費は1点3,500円とする。

第12条（入場料）

県展の入場料は次の通りとする。

- | | | |
|-----------|----------|---------|
| 1. 一般・大学生 | 前売り 600円 | 当日 800円 |
| 2. 高校生 | | 当日 300円 |

第13条（附則）

本要項の規定は昭和61年9月から実施する。

本要項の改訂、修正は運営委員の3分の2以上の議決を経てこれを行うものとする。

- | | |
|------------|------|
| 平成4年2月22日 | 一部改正 |
| 平成4年5月16日 | 一部改正 |
| 平成8年5月25日 | 一部改正 |
| 平成11年5月14日 | 一部改正 |
| 平成13年5月30日 | 一部改正 |
| 平成14年9月25日 | 一部改正 |
| 平成17年6月14日 | 一部改正 |
| 平成18年4月11日 | 一部改正 |
| 平成23年2月20日 | 一部改正 |
| 平成24年2月24日 | 一部改正 |
| 平成25年8月20日 | 一部改正 |
| 平成26年8月6日 | 一部改正 |

第 10 回徳島県こども美術展出品・入選等状況

会 期 10月17日(金)～10月21日(火)

会 場 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

入場者数 大人 2,575人 こども 1,387人 計 3,962人

出品・入選等状況

【絵画部門】

| 種 別 | 一 般 展 出 品 | | | | | | | 特 別 企 画 展 出 品 | | | | | | |
|-------------|-----------|------|-------------|-----|-----|-----|-------|---------------|------|-----|-----|----|-------|------------|
| | 学 年 | 作品総数 | 特選 (特別賞) | 準特選 | 優秀賞 | 入選 | 入場者計 | 入選率 (%) | 作品総数 | 特別賞 | 優秀賞 | 入選 | 入場者計 | 入選率 (%) |
| 小 学 生 | 1年 | 602 | 3 | 2 | 44 | 54 | 103 | 17.11 | 12 | 1 | 2 | 2 | 5 | 41.67 |
| | 2年 | 600 | 1 | 2 | 44 | 51 | 98 | 16.33 | 25 | 1 | 3 | 5 | 9 | 36.00 |
| | 3年 | 532 | 2 | 2 | 38 | 46 | 88 | 16.54 | 25 | 1 | 3 | 5 | 9 | 36.00 |
| | 4年 | 500 | 2 | 2 | 35 | 45 | 84 | 16.80 | 35 | 1 | 4 | 5 | 10 | 28.57 |
| | 5年 | 387 | 2 | 2 | 24 | 36 | 64 | 16.54 | 29 | 1 | 3 | 5 | 9 | 31.03 |
| | 6年 | 347 | 2 | 2 | 26 | 26 | 56 | 16.14 | 45 | 1 | 5 | 5 | 11 | 24.44 |
| 中 学 生 | 1年 | 287 | 2 | 2 | 21 | 22 | 47 | 16.38 | 25 | 1 | 3 | 5 | 9 | 36.00 |
| | 2年 | 268 | 2 | 2 | 19 | 22 | 45 | 16.79 | 6 | 1 | 1 | 1 | 3 | 50.00 |
| | 3年 | 237 | 2 | 2 | 18 | 21 | 43 | 18.14 | 4 | 1 | 1 | 1 | 3 | 75.00 |
| 計 | 3,760 | 18 | 18 | 269 | 323 | 628 | 16.70 | 206 | 9 | 25 | 34 | 68 | 33.01 | |

【書写部門】

| 種 別 | 一 般 展 出 品 | | | | | | | 特 別 企 画 展 出 品 | | | | | | |
|-------------|-----------|-------|-------------|-----|-----|-----|-------|---------------|------|-----|-----|-----|------|------------|
| | 学 年 | 作品総数 | 特選 (特別賞) | 準特選 | 優秀賞 | 入選 | 入場者計 | 入選率 (%) | 作品総数 | 特別賞 | 優秀賞 | 入選 | 入場者計 | 入選率 (%) |
| 小 学 生 | 1年 | 432 | 2 | 2 | 18 | 47 | 69 | 15.97 | 267 | 1 | 8 | 5 | 14 | 5.24 |
| | 2年 | 619 | 2 | 2 | 25 | 69 | 98 | 15.83 | 490 | 1 | 8 | 5 | 14 | 2.86 |
| | 3年 | 1,096 | 2 | 2 | 46 | 124 | 174 | 15.88 | 689 | 1 | 10 | 10 | 21 | 3.05 |
| | 4年 | 793 | 2 | 2 | 34 | 89 | 127 | 16.02 | 697 | 1 | 10 | 10 | 21 | 3.01 |
| | 5年 | 798 | 2 | 2 | 33 | 90 | 127 | 15.91 | 708 | 1 | 10 | 10 | 21 | 2.97 |
| | 6年 | 807 | 2 | 2 | 33 | 91 | 128 | 15.86 | 659 | 1 | 10 | 10 | 21 | 3.19 |
| 中 学 生 | 1年 | 339 | 2 | 2 | 14 | 35 | 53 | 15.63 | 199 | 1 | 7 | 5 | 13 | 6.53 |
| | 2年 | 289 | 2 | 2 | 12 | 30 | 46 | 15.92 | 202 | 1 | 7 | 5 | 13 | 6.44 |
| | 3年 | 229 | 2 | 2 | 10 | 23 | 37 | 16.16 | 152 | 1 | 5 | 5 | 11 | 7.24 |
| 計 | 5,402 | 18 | 18 | 225 | 598 | 859 | 15.90 | 4,063 | 9 | 75 | 65 | 149 | 3.67 | |

※県南巡回展(阿南市)11月2日(日)3日(月・祝)入場者数 673人

※県西巡回展(美馬市)11月8日(土)9日(日) 入場者数 622人

各部記録

日 本 画 部

部 会 長 西 野 和 男

年間展望

◎第 22 回放美展（5月2日～5月6日 あわぎんホール）

応募点数は昨年より3点多い31点で、高校生12人からの応募もあった。壁面の効果を考えながら22点の入選作品を選出し、その中から放美賞、優秀賞、梅岡トヨ賞を各1点選んだ。

全体的にエネルギーにあふれた好感が持てる作品が多く、惜しくも選に漏れた作品の中にも今後を期待させる作品が多く見られた。失敗を恐れず作家自身の気持ちを大切に、時代を担う新しいうねりを感じさせる作品を次回展に期待したい。

| | | |
|-------|------|-------|
| 放美賞 | 「冬日」 | 植田 忠生 |
| 優秀賞 | 「檸檬」 | 富永 博子 |
| 梅岡トヨ賞 | 「恍」 | 大久保優子 |

◎第 69 回徳島県美術展（10月11日～19日 あわぎんホール）

今回の審査は、創画会会員で芸術院会員の上村淳之先生にお願いした。応募点数は47点で、その中から特別賞（徳島県知事賞）1、特選1、準特選3、奨励賞3を含む入選29点を選んだ。上村先生には厳正に審査していただいた後に、作品づくりなどについて「絵というものは思いがあっても筆が足らん」ということがあるが「筆が足りて思いが足らん」のはもっといかん。例えば、白い花を描くとする。その場合「白い花の香りが描けなあかん」「形が描けても香りが描けな意味がない」絵というものは、自分が夢想したものに、「観るものを引っ張り込まなあかん」そして共によい世界を見ましようよ、という問いかけがあって「初めて芸術の存在価値がある」と、京都弁でユーモアを交えながら話していただいた。

また、特選、準特選などの作品に関する講評は次のようなものであった。

県知事賞の清水佳代子「窓花」は、非常に思い入れの深い絵だ。描かれた花は自分で大事に育てたようだ。花への強い思いがあり、それが絵に表れている。丁寧に仕上げられていて、白い花の香りまで伝わってくるよう。プランターを配した構成が面白く、右上辺りにもう一つ描けばもっと良くなるのでは。

特選の亀井純子「共存」は、水面下の世界に浸り、非常に夢があって面白い。クラゲが水中を泳ぐ姿に夢を乗せて、うまく描いている。水面下を見るのは難しいものだが、最近水族館の展示も見られるので、リアリティーのある作品になっている。

準特選の3点はいずれも、とても惜しい作品。

柳田一子「翔」は、デッサンがしっかりとし、県知事賞作品と同様、植物を大事にしているのが伝わる。もっと花びらをデリケートに表現すれば花同士が話すように見え、より思いも出てくる。紫の花の色の出し方には工夫がほしかった。

日本画では一本一草に神仏が宿ると言われる。石動智子「昔日」は、何でも無い場所に美しい自然を見つけた。河原に目を留め、深い思い入れを込めた作者の正直な気持ちが伝わる。ただ、中央上の緑色が生々しく感じた。

宮越千佳「朝がくる」は技術的に優れ、相当の鍛錬の跡が見える。かすかに描かれた三日月が面白い。月が出ているけれど明るくはない。しゃれている。多少違和感を感じたのは鶏の様子。夜なので不安げな雰囲気が出せれば良かった。

全体の作品を眺めると、温厚な表現の中で、穏やかさを感じた。日本画のあるべき姿が徳島にはあり、好感を持った。

自分自身の思いが、いかに深いか浅いかによって絵は変わる。より思いを込めて頑張してほしい。

| | | |
|----------|----------|-------|
| 特選 | 「窓花」 | 清水佳代子 |
| (徳島県知事賞) | | |
| 特選 | 「共存」 | 亀井 純子 |
| 準特選 | 「朝がくる」 | 宮越 千佳 |
| 準特選 | 「翔」 | 柳田 一子 |
| 準特選 | 「昔日」 | 石動 智子 |
| 奨励賞 | 「樹」 | 天羽 弘毅 |
| 奨励賞 | 「遠くで花火が」 | 井上 弘子 |
| 奨励賞 | 「在」 | 坂 容子 |

会員消息

| | | | |
|----|-----------------|----------------------------------|--------------------|
| 1月 | 読売・KRY チャリティ美術展 | 山口放送本社 | 土方るみ子 |
| 2月 | 第49回日本墨彩画院展 | 高松市美術館 | |
| | | 長谷壽 (副会長・審査員)・天羽弘毅 (評議員) | |
| | 第42回徳島市芸術祭美術展 | シビックセンターギャラリー | 土方喜美子 (特別出品) |
| | 国際こころ交流展 | THEATRE1010 シアターセンジュギャラリー B (東京) | 長尾弘子 |
| 3月 | 第54回日本南画院展 | 東京国立新美術館、京都市美術館、大阪市立美術館 | 長谷壽 (同人)・藤井瑞雲 (同人) |
| 4月 | 第49回日春展 | 東京・松屋銀座 | |
| | 春のかをり (美術展) | 秋月ヒサヨ・石原千鶴・岡英彦・橋本正弘 (会員)・土方るみ子 | 京都、嶋臺ギャラリー 長尾弘子 |
| 5月 | 第5回徳島女流美術展 | あわぎんホール | 土方喜美子・土方るみ子・柳田一子 |
| | 第53回阿南市美術展 | 阿南市文化会館 | 長谷壽 |
| 6月 | 第15回朱泥会展 | アミコ・シビックセンター 3F | |
| | | 長尾弘子主宰朱泥会員 20名と徳島新聞カルチャー 10名 | |

| | | | |
|-----|-------------------------------------|-----------------|------------------------|
| 8月 | 第6回日本南画院選抜秋季展 | 京都市美術館 | 藤井瑞雲（同人） |
| 10月 | 改組新第1回日展 | 東京・国立新美術館 | 橋本正弘（出品委嘱） |
| | 第72回有秋会展 | 大阪市立美術館 | 藤井瑞雲（大阪府教育委員長賞） |
| | 平成26年美波町由岐地区文化祭 | 由岐ポッポマリン | 長谷壽 |
| 11月 | 第10回吉野川市文化祭 | 川島町体育館 | 藤井瑞雲 |
| | 第43回阿南市文化祭美術展 | 阿南市文化会館 | 長谷壽 |
| | 平成26年福井町文化祭 | 福井町総合センター | 長谷壽 |
| 12月 | 第43回歳末チャリティー作品・色紙即売展 | そごう徳島店6階 | 岡英彦・長尾弘子・土方喜美子・土方るみ子 |
| | ART LINK in YOKOHAMA アートがツナグ、キヅナのワー | みなとみらいギャラリー（横浜） | 長尾弘子 |
| | 第5回ツーバイツー日本画展 | 阿波銀プラザ | 斎藤久代 |
| | 第50回記念日本墨彩画院展 | 高松市美術館 | 長谷壽（副会長・審査員）・天羽弘毅（評議員） |

洋画部

部会長 榎田 務

年間展望

◎第22回放美展 会期・5月2日(金)～5月6日(火・振替休日) 会場・あわぎんホール
洋画部門の応募者は144人、点数は153点で、内、高校生の応募は34点を数えた。

入選(入賞を含む)は83点、入選率54パーセントではじめて50パーセント台になった。

審査は、玉田秀子、長尾弘久、露口敏幸の三氏が当たった。審査後の感想としては、全体的に作品のレベルが向上し、特に受賞作品に顕著であった。

放美賞の小笠原秋子さん「木材団地の片隅で」は保管されている材木に真正面から取り組んだ堅実な作品で迫力に富む。画面構成など、技術的にも確かである。

優秀賞の杉本祥子さん「届ける」は日常的なテーマながら、シュールな一面をもつ作品で洒落ている。同じく優秀賞の白草由子さん「とくしまマルシェ」は、人物の配置や構成が巧みで動きがある。市場の雰囲気がよく表現されている。同じく優秀賞の真鍋たえ子さん「火力!水力!原子力?」は、社会性のあるテーマで構成と色調に魅力がある。同じく優秀賞の長尾賀代子さん「廃屋の壁」は、対象に向かう真摯な姿勢と表現への強い意欲を感じる。同じく優秀賞の土橋正子さん「待春の三頭山」は、柔らかい色調で春近い山と集落を表現。マチエルが美しい。同じく優秀賞の大西道夫さんの「構成5」は、色彩に新鮮味がある。同じく優秀賞の下内一弘さん「お婆」は、難しいモチーフを誠実に描き、緻密な表現が成功している。

梅岡賞の美馬匠吾さん「土星」は、若さと将来性を感じる。などの高い評価を得た。

入選を逸した作品も遜色のない好作品で、限りある壁面のため展示されなかったのは、残念としか言いようがない。更に精進されて応募されるようお願いしたい。

◎第28回洋画部会員展 会期・7月17日(木)～7月20日(日) 会場・あわぎんホール

会員の高齢化がすすんでいるが、ここ数年、出品数はどうにか現状を維持出来ている。新しい試みとして、放美展の入選・入賞者との交流など、会員以外の出品も可として、より活性化をめざした。

この結果、会員の出品数80点、放美展入選・入賞者の出品が15点、計95点で一定の成果を得たものの、多くの壁面を残すこととなった。

最終日の7月20日午後5時からホテルグランドパレス徳島において懇親会を兼ねて研修会を開催し、二紀会会員で徳島大学教授の平木美鶴先生の講話「表現のもつ意義」を拝聴し、有意義であった。

また、会員展の現状および会計報告につづいて当面する課題について協議し、次回の会員展は会場をあわぎんホールA展示室に移し、作品の大きさも60号を上限に、一人一点で従来通り会員のみで開催することとなった。相互の研究、交流の場として、県民の方々から愛好される展覧会になるよう会員の皆様のご協力を切にお願いしたい。

なお、洋画部会員展運営委員と事務局は次のとおりである。

中央：伊勢浩章、黒崎志郎、嵯峨潤三、玉田秀子、露口敏幸、長尾弘久、南城ミツ子、
西川周三、平木美鶴、榊田 務
北部：越久高照、河野公子、田中シゲミ
南部：佐藤敬子、中辻奈美枝、福良哲子
西部：近藤克子、鈴木敬子、松川 寛
事務局：清水 博 会 計：福良哲子 監 事：佐藤敬子

◎第 69 回県美術展 会期・10月11日(土)～10月19日(日) 会場・あわぎんホール

洋画部門の応募作品総数は 285 点。応募者は 218 人だった。

入賞・入選は特選 3、準特選 6、奨励賞 5 点に入選 116 点、計 130 点が選ばれた。入選率は、45.6 パーセントの厳選となった。

審査員には、一水会常任委員で、日展会員の池田清明氏をお迎えした。午前 9 時 30 分から午後 3 時過ぎまで丹念に審査に当たって頂いた。

審査後のお話では、作品のレベルが高く、どの作品からも作者の真摯な制作態度が感じられた。モチーフも表現も多彩でバラエティに富んだひろがりがあり、とりわけ若い人の新鮮な着想による作品に洋画部門の将来に力強さを感じた。

審査に当たっては、偏りのない選に努め、表現の意図、造形的な空間、色彩、形の説得力など、絵としての強さ、表現の明快さとともに作品を展示した際、見る人を楽しくさせる効果も考えながら審査に当たった。と話された。

徳島県議会議長賞の楠明寿香「海へ」は物語性のある作品で、デッサンも確かで、若々しくしなやかな感性のにじみ出た作品。

特選の佐藤敬子「愛しいものたち(1)」の巧みな空間の構成と澄明な色彩、水族館をテーマにしており、デザイン的な要素が楽しい。

同じく特選の井原亘「闘志」は、題名どおり若々しく力強く迷いのない率直な表現でインパクトの強い絵である。補色と顔の陰影を示す中間色がリアリティを表現して効果的。

また、制作にあたっては、自分にあった、自分らしい表現を突き詰めてもらいたい。個性をわきまえ無理なく自分を見詰め、理解することが必要だ。そして、問題意識をもって描いてほしい。とのアドバイスを頂いた。

受賞作品の決定も衆目の中、何度も賞候補作品に当たられ、慎重に決められた。その経緯がよくわかり、好評であった。

これからも、関係者の意見をよく聞き、第 70 回展に臨みたい。

会員消息 (県展・放美展を除く)

○藍谷 浩平 第 2 回 KEDO 洋画グループ展 (阿波銀プラザ)

○青木 幸子 徳島アート 21 第 12 回展、第 2 回 KENDO 洋画グループ展 (阿波銀プラザ)、

第 28 回洋画部会員展（あわぎんホール）

- 阿部 昌子 第 45 回土曜展、第 28 回洋画部会員展、第 70 回記念青美展（あわぎんホール）、北井上文化祭（北井上コミュニティセンター）
- 東 紀美子 第 28 回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート 21 第 12 回展（阿波銀プラザ）、第 13 回つくしの会、波の会合同絵画展、第 53 回阿南市美術展（阿南市文化会館）
- 天田 弘之 第 46 回モダンアート徳島支部展（阿波銀プラザ）、第 64 回モダンアート展（都美術館）、同京都展（京都市美術館）、同名古屋展（名古屋市美術館）、第 46 回欧米国際公募ポルトガル美術賞展（セトゥーバル市）、第 28 回洋画部会員展、第 46 回石井美術の会作品展（あわぎんホール）
- 伊勢 浩章 徳島アート 21 第 12 回展（阿波銀プラザ）、第 28 回洋画部会員展、第 32 回平和美術展、第 70 回青美展（あわぎんホール）
- 乾 繁春 公募団体ベストセレクション美術 2014 展出展、第 74 回美術文化展：会員出品（東京都美術館）、名古屋巡回展（愛知県美術館）、大阪巡回展（大阪市美術館）、第 24 回美術文化徳島支部展、第 72 回世代美術展、第 7 回徳島絵画美学展（阿波銀プラザ）、NHK 高松絵画美学展：賛助出品（高松市美術館）、第 1 回響展（東京銀座ギャラリー暁）
- 伊良原貞子 第 74 回美術文化展（都美術館）、京都巡回展（京都市立美術館）、名古屋巡回展（愛知県立美術館）、大阪巡回展・関西美術文化展（大阪市立美術館）、第 28 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 73 回世代美術展、第 24 回美術文化徳島支部展・第 7 回徳島絵画美学展（阿波銀プラザ）、高松絵画美学展（高松市美術館）
- 宇高 桂子 第 5 回徳島女流美術展、第 28 回洋画部会員展（あわぎんホール）、宇高桂子アクリル画展（ギャラリー喫茶グレイス）
- 梅津美砂代 第 42 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 45 回土曜展、第 28 回洋画部会員展、第 70 回青美展（あわぎんホール）
- 大津 憲文 第 53 回阿南市美術展、第 43 回阿南市文化祭美術展、第 13 回合同絵画展（阿南市文化会館）、第 28 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 大西 道夫 第 46 回モダンアート徳島支部展（阿波銀プラザ）、第 64 回モダンアート協会展（都美術館）、同京都展（京都市立美術館）、第 28 回洋画部会員展（あわぎんホール）、小松島市美術展（小松島市中央公民館）、第 34 回道草展（喫茶やまなみ）
- 大西利津子 第 28 回洋画部会員展（あわぎんホール）、春季徳島二紀展（阿波銀プラザ）、第 29 回徳島二紀展（県立近代美術館）、第 42 回徳島市芸術祭美術展（徳島市シビックセンター）
- 大野 文雄 第 2 回徳島電友会 NTT グループ趣味の作品展（あわぎんホール）
- 小笠原秋子 第 28 回洋画部会員展（あわぎんホール）、春風展（たばこ資料館）、三好市文化祭（ヨンデンプラザ池田）、三野文化祭（三好市三野体育館）
- 岡田 君代 第 32 回平和美術展、第 28 回洋画部会員展、第 70 回青美展（あわぎんホール）
- 越久 高照 第 29 回藍美展（町福祉センター）

- 加川由紀子 第1回、第2回 KENDO 洋画グループ展、徳島アート21 第12回展（阿波銀プラザ）、第32回平和美術展、第28回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 片山 富市 第80回旺玄会展（東京都美術館）、第18回旺玄会東四国支部展（阿波銀プラザ）
- 片山美代子 第70回記念現代美術協会展（国立新美術館）、第4回個展（阿波市図書館）、阿波市吉野川市二市交流展、総合展（吉野川市文化研修センター）、阿波市文化祭（土成コミュニティセンター）
- 河田 安市 第90回白日会展（国立新美術館）、第28回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 河野 公子 第74回美術文化展（都美術館）、関西美術文化展（大阪市立美術館）、第24回美術文化徳島支部展、第32回徳島平和展、第28回洋画部会員展、第70回青美展（あわぎんホール）、河野公子洋画展（ギャラリー喫茶グレイス）
- 河本多恵子 第42回徳島市芸術祭美術展：招待出品（徳島市シビックセンター）、第1回、第2回 KENDO 洋画グループ展、徳島アート21 第11回展（阿波銀プラザ）、第28回洋画部会員展（あわぎんホール）、国府文化祭（国府コミュニティセンター）
- 岸本 花子 第42回徳島市芸術祭美術展（徳島市シビックセンター）、第28回洋画部会員展（あわぎんホール）、第37回八紅展、絵画美学展（阿波銀プラザ）、全日本網走支部展（網走市エコセンター）、第30回八万文化祭（八万コミュニティセンター）、悠美展（ヨンデンプラザ徳島）
- 木谷 弘 第74回美術文化展（都美術館）、第24回美術文化徳島支部展、第2回 KENDO 洋画グループ展（阿波銀プラザ）、悠美展（ヨンデンプラザ徳島）
- 黒崎 志郎 第45回示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、第102回日本水彩展（都美術館）、第67回示現会展、改組新第1回日展（国立新美術館）、第67回示現会展巡回徳島展（あわぎんホール）
- 答島 久子 第53回阿南市美術展、第13回つくしの会・波の会合同展、第43回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館）、第28回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 後藤ユリ子 第28回洋画部会員展（あわぎんホール）、第3回短歌と絵画の彩り展（フジムラコーヒーギャラリー）、白百合文化祭（仙台市）
- 小浜 敏也 第28回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート21 第12回展（阿波銀プラザ）、第13回つくしの会・波の会合同絵画展、第52回阿南市美術展、第43回阿南市文化祭（阿南市文化会館）
- 近藤 克子 第80回東光展（都美術館）、第75回水彩連盟展、改組新第1回日展（国立新美術館）、第36回東光会徳島支部展、第46回画展ふるさと（あわぎんホール）、第73回世代美術展、第7回徳島絵画美学展（阿波銀プラザ）、鴨島美術グループ展（吉野川市文化センター）
- 嵯峨 潤三 徳島アート21 第12回展、第73回世代美術展（阿波銀プラザ）、第28回洋画部会員展（あわぎんホール）、関西学院大学絵画部弦月会創立100周年記念展（兵庫県立美術館原田の森ギャラリー）
- 佐々木公子 徳島アート21 第12回展（阿波銀プラザ）、第28回洋画部会員展（あわぎんホー

- ル)、第 13 回合同絵画展 (阿南市文化会館)
- 佐藤 敬子 第 28 回洋画部会員展、第 70 回青美展 (あわぎんホール)、第 7 回徳島絵画美学展 (阿波銀プラザ)
 - 齋藤 靖子 日本板画院展 (東京都美術館)、徳島女流美術展、洋画部会員展、絵で見る徳島展 (あわぎんホール)、徳島版画展 (阿波銀プラザ)、悠美展、花みずき展 (四電ギャラリー)
 - 篠原佳代子 昭和美術会旅の風水彩展 (ギャラリーカト京都)、全国公募第 39 回昭和美術会展 (京都市美術館)、第 4 回昭和美術会徳島巡回展、第 5 回徳島女流美術展 (あわぎんホール)、第 47 回京洛ミニチュア展 (ギャラリーきむら京都)、第 22 回篠原佳代子油絵個展 (ギャラリー喫茶アンデルセン)
 - 志摩 政照 吉野川総合美術展、鴨島美術グループ展 (吉野川市文化研修センター)
 - 四宮 久子 二紀展 (国立新美術館)、徳島二紀展、アトリエバク展 (阿波銀プラザ)
 - 島上 二郎 第 80 回東光展 (都美術館)、第 36 回東光会徳島支部展 (あわぎんホール)
 - 下時治郎秀臣 白日会展 90 周年記念展：会員出品、日展入選 (国立新美術館)、巡回展 (愛知、熊本、岡山、大阪)、白日選抜展 (近鉄画廊、日本橋三越)、水無月会展 (銀座相模屋画廊)、現代洋画秀作展 (梅田画廊、あわぎんホール)、デッサン展 (銀座永井画廊)、洋画部会員展 (あわぎんホール)、鴨島美術グループ展 (吉野川文化研修センター)
 - 白草 由子 第 28 回洋画部会員展 (あわぎんホール)
 - 鈴木 敬子 第 90 回白日展 (国立新美術館)、第 28 回洋画部会員展 (あわぎんホール)、第 36 回鴨島美術グループ展 (吉野川市文化研修センター)
 - 杉本 祥子 徳島アート 21 第 12 回展、第 2 回 KENDO 洋画グループ展 (阿波銀プラザ)、第 68 回女流画家協会展 (東京都美術館)
 - 住友 政雄 第 46 回画展ふるさと展、第 43 回絵で見る徳島展、電友会趣味の作品展 (あわぎんホール)、鴨島美術グループ展、吉野川総合美術展 (吉野川文化研修センター)
 - 曾我部秀子 第 42 回徳島市芸術祭美術展：招待作品 (徳島市シビックセンター)、第 28 回洋画部会員展 (あわぎんホール)、第 15 回日美絵画展 (新国立美術館)、第 30 回八万文化祭 (八万コミュニティセンター)
 - 武田 洋子 第 28 回洋画部会員展、第 7 回生きがい作品展 (あわぎんホール)、三好郡・市教職員春風展 (たばこ資料館)、阿波・吉野川市二市交流展 (吉野川市文化研修センター)、阿波絵画クラブ展 (阿波図書館)
 - 竹原 良亮 第 42 回徳島市芸術祭美術展 (徳島市シビックセンター)、第 28 回洋画部会員展 (あわぎんホール)、東富田地区秋季文化祭 (東富田コミュニティセンター)
 - 田中シゲミ 第 42 回徳島市芸術祭美術展：招待出品 (シビックセンター)、第 28 回洋画部会員展 (あわぎんホール)、大麻町文化祭 (鳴門市大麻町公民館)
 - 田中 康子 第 38 回八紅展 (阿波銀プラザ)、国府文化祭 (国府コミュニティセンター)、第 28 回洋画部会員展 (あわぎんホール)

- 玉田 秀子 徳島アート 21 第 13 回展(阿波銀プラザ)、第 28 回洋画部会員展(あわぎんホール)、第 12 回合同絵画展(阿南市文化会館)
- 為実美恵子 第 27 回三好文化まつり(ヨンデンプラザ池田ギャラリー)
- 露口 敏幸 第 28 回洋画部会員展(あわぎんホール)、第 73 回世代美術展(阿波銀プラザ)
- 手塚てる子 第 8 回ガレリアレイノ大賞展(広島アステールプラザ)、第 28 回洋画部会員展(あわぎんホール)、手塚てる子個展(ギャラリー喫茶グレイス・東京銀座ギャラリー青羅)
- 中辻奈美枝 第 28 回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート 21 第 12 回展(阿波銀プラザ)、第 52 回阿南市美術展、第 43 回阿南市文化祭展、第 12 回合同絵画展(阿南市文化会館)
- 長野 満子 徳島城博物館ボランティア友の会展(徳島城博物館内)、徳島県障害者交流プラザ展(徳島県障害者交流プラザ内)
- 中村 恵一 第 28 回日洋展(新国立美術館)、同大阪会場(大阪市立美術館)、同香川・岡山合同展(香川県文化会館)、第 45 回石井美術の会会員展(あわぎんホール)
- 二條 均 第 28 回洋画部会員展、第 32 回平和美術展(あわぎんホール)、第 25 回板野美術クラブ展(板野町文化の館)
- 仁木 幸子 第 28 回洋画部会員展(あわぎんホール)、第 30 回八万文化祭(八万コミュニティセンター)
- 西 富美 第 51 回関西独立展(大阪市立美術館)、第 28 回洋画部会員展(あわぎんホール)、第 82 回独立展(国立新美術館)、同大阪展(大阪市立美術館)
- 西川 敬子 第 70 回関西水彩画展(大阪市立美術館)、徳島アート 21 展(阿波銀プラザ)、第 5 回徳島女流美術展、第 28 回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 西川 周三 徳島アート 21 第 12 回展(阿波銀プラザ)、第 28 回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 西川 照美 アトリエバクグループ小品展(櫻ギャラリー)、第 27 回洋画部会員展(あわぎんホール)、第 16 回アトリエバクグループ展(阿波銀プラザ)
- 西崎 志帆 第 28 回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 野上 恵子 第 28 回洋画部会員展(あわぎんホール)、第 37 回八紅展(阿波銀プラザ)、ミニ展示(森珈琲店)、八万文化祭(八万コミュニティセンター)
- 野口 暁子 第 28 回洋画部会員展(あわぎんホール)、第 37 回八紅会(阿波銀プラザ)
- 野村 雅子 第 28 回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート 21 第 12 回展(阿波銀プラザ)、第 13 回合同絵画展(阿南市文化会館)
- 林 康太郎 第 28 回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 林 静代 第 58 回神戸二紀展(原田の森ギャラリー)、第 28 回洋画部会員展(あわぎんホール)、第 16 回アトリエバク・グループ展(阿波銀プラザ)
- 林 信夫 第 28 回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 林 文子 第 28 回洋画部会員展(あわぎんホール)、第 53 回阿南市美術展、第 43 回阿南市文化祭美術展、第 13 回合同絵画展(阿南市文化会館)

- 平田スミコ 第 68 回女流画家協会展（都美術館）、第 28 回洋画部会員展、第 70 回青美展（あわぎんホール）、第 3 回響展（阿波銀プラザ）、一宮祭（一宮コミュニティセンター）
- 日野 邦恵 第 80 回東光展、第 102 回日本水彩画会展（都美術館）、第 36 回東光会徳島支部展、第 28 回洋画部会員展、第 46 回石井美術作品展（あわぎんホール）、第 36 鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）
- 平木 美鶴 第 68 回二紀展（国立新美術館）、第 82 回日本版画協会展（都美術館）、二紀会徳島支部展（県近代美術館ギャラリー）、春季徳島二紀展・徳島版画展（あわぎんホール）、第 3 回ウルサン国際木版画フェスティバル招待出品（ウルサン文化芸術会館）、高知国際版画トリエンナーレ（いの町紙の博物館）
- 福良 哲子 第 42 回徳島市芸術祭美術展：招待出品（シビックセンター）、第 28 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 37 回八紅展（阿波銀プラザ）、加茂谷文化祭（加茂谷公民館）
- 藤井 香世 第 1 回、第 2 回 KENDO 洋画グループ展（阿波銀プラザ）、第 28 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 藤本 誠子 アトリエバクグループ展 2014/2 月（さくらギャラリー）、同 2014/11 月（阿波銀プラザ）
- 真野 孝彦 第 9 回吉野川市・阿波市絵画交流展（鴨島町文化研修センター）、第 1 回短歌と彩り展、第 2 回県立川島高校現役 OB 展、真野孝彦個展（鴨島駅前シルバリーロード・鴨島中央通り花杏店・国府町府中ギャラリーフジムラコーヒー花実）、第 36 回鴨島美術無グループ展、第 1 回鴨島児童館児童展講師出品
- 前川 富子 第 74 回美術文化展（都美術館）、同関西美術文化展（大阪市立美術館）、同徳島支部展、絵画美学展（阿波銀プラザ）、第 46 回石井美術作品展（あわぎんホール）、第 73 回水彩連盟展（国立美術館）
- 前川フキ子 第 28 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 6 回羽ノ浦町文化祭（羽ノ浦公民館）、第 13 回合同展（阿南文化会館）
- 柘田 務 第 36 回東光会徳島支部展、第 28 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 42 回徳島市芸術祭美術展審査（徳島市シビックセンター）、子ども県展審査（徳島新聞社）、全国愛鳥週間、環境保全等ポスターの審査（徳島合同庁舎）
- 松川 寛 第 46 回モダンアート協会徳島支部展（阿波銀プラザ）、第 64 回モダンアート展（都美術館）、同京都展（京都市立美術館）、第 28 回洋画部会員展、石井美術の会作品展（あわぎんホール）、関西モダンアート展（奈良市美術館）
- 真鍋たえ子 第 28 回洋画部会員展（あわぎんホール）、東富田文化展（東富田コミュニティセンター）
- 真鍋 弘子 徳島アート 21 第 12 回展（阿波銀プラザ）
- 三沢 尚子 第 60 回関西水彩画展（大阪市立美術館）、第 5 回徳島女流美術展、第 28 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 7 回それいゆ水彩画展、第 24 回燎 4 人展（阿波銀プラザ）

- 三谷ミヤ子 第 80 回東光展（東京都美術館）、第 42 回徳島市芸術祭美術展：招待出品（徳島市シビックセンター）、第 28 回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート 21 第 12 回展（阿波銀プラザ）、東富田文化展（東富田コミュニティセンター）、徳島城博物館展（徳島城博物館）
- 峰 幸子 第 4 回徳島女流美術展、第 28 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 42 回む・アート展（阿波銀プラザ）、第 78 回新制作展（国立新美術館）、同京都展（京都市立美術館）
- 三好 初子 第 80 回東光展（都美術館）、第 36 回東光会徳島支部展、第 5 回徳島女流美術展、第 28 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 42 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、藍美展（藍住街福祉センター）
- 山口 明美 第 37 回八紅展（阿波銀プラザ）、第 28 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 山口美千代 第 28 回洋画部会員展、第 70 回青美展（あわぎんホール）、池田文化祭（ヨンデンプラザ池田）
- 山田 智千 第 45 回土曜展（あわぎんホール）
- 結城 栄子 第 42 回む・アート展（あわぎんホール）
- 米沢 博 第 42 回徳島市芸術祭美術展（徳島市シビックセンター）、第 27 回全国健康福祉祭（栃木県文化総合センター）
- 和田 寿子 第 42 回市展、第 28 回洋画部会員展、第 43 回絵で見る徳島展、第 46 回画展ふるさと（あわぎんホール）

写 真 部

部 会 長 上 野 照 文

年間展望

○第 69 回県美術展 10月11日(土)～19日(日) あわぎんホール

審査員には大阪芸術大学教授織作峰子先生を始めてお招きして行われた。全体に良い出来映えの作品が多かった。選考には審査員の好みが反映されるため、入選出来なかった人も肩を落とさないでほしい。台紙に傷や染みのある作品や波打ったプリントがあったのは残念。最後まで仕上げに手を抜かず、名誉ある写真展にふさわしい心構えで臨んでほしい。優れた作品を完成させるためには、構図だけを考えるのではなく、感性を大切にして「自分が何を撮りたいのか」にこだわりを持ってほしい。

応募点数は 583 点、出品人数 226 名。この中から特選 4 点。準特選 9 点。奨励賞 8 点。入選 116 点が出選。

| | | |
|-----|--|-----------|
| 特選 | 「百歳の願い」 | 賀川泰広(特別賞) |
| | 「フィルムよさようなら」 | 岩本宏子 |
| | 「異境の祈り」 | 福井邦博 |
| | 「子供の日」 | 大和章人 |
| 準特選 | 鳥井敬一・大津勝治・常陸 章・大塚 尚・福井純子・梅本貞範 井上憲治・吉村敏嗣・鍋島治世子 | |

○第 22 回放美展 5月2日(金)～6日(火) あわぎんホール

力作ぞろいだったが、撮影後の処理はまだまだ研究の余地がある。やりすぎに注意しながら作品に仕上げしてほしい。応募点数は 420 点。昨年より少し減ったが、内容的には例年を上回るように感じた。放美賞 1 点、優秀賞 17 点、梅岡トヨ賞 1 点、入選 121 点を選出した。

審査員：櫛淵 魏・上野照文・林 敏彦

| | | |
|-------|--|------|
| 放美賞 | 「厳寒」 | 川西明雄 |
| 優秀賞 | 岡本早苗・大西啓子・早渕 茂・板東美智代・根ヶ山美江 森住孝義・板東律雄・山上 堯・福見尚美・滝島豊美・喜多省三 多田 進・久保朋也・野藤敏美・野藤みきよ・伊達照子 島 廣幸・鳥井敬一・山下助信 | |
| 梅岡トヨ賞 | 高木大輔 | |

○県美術写真部撮影会 6月22日(日) 京都市

今年は「京都市」を目的地に行った。バス 1 台 42 名の参加で開催した。阿南 6 時出発、徳島、鳴門経由で 10 時過ぎに京都駅、平安神宮で解散。各自が自由に出発時間まで目的地で撮影し有意義な 1 日を送った。

お世話願った委員は井上憲治・林 敏彦各氏でした。

訃報 長年にわたり、写真部長をされていました、西條征二氏が2015年1月11日にお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りします。

会員消息

◎第48回日本光画会「光」展(1月24日(金)～26日(日)徳島市シビックセンター)

会員出品:佐藤義雄

◎第29回全日本写真連盟県本部写真展(2月7日(金)～9日(日)徳島市あわぎんホール)

出品者:秋田召旨・阿部啓三・井藤光章・井上憲治・岩本宏子・上野照文・大津勝治
岡本早苗・川真田慶治・岸田義市・久我千鶴・佐治 孝・佐藤 進・佐藤義雄
滝島豊美・野藤敏美・野藤みきよ・橋本圭祐・橋本 勝・林 敏彦・林 好一
板東泰雄・姫野博司・福井邦博・福井純子・福田 勉・藤川光昭・藤本英子
古井謙吉・三木理司・宮本幸治・森 賢一・吉村敏嗣

◎川真田慶治写真展(2月22日(土)～3月22日(土)シルバリーロード・鴨島)

◎日本風景写真協会第8回徳島支部展(3月4日(火)～9日(日)NHK 徳島放送局)

出品者:岩崎英昭・吉田隆之

◎2013年度大学開放実践センター写真講座修了展(3月7日(金)～9日(日)阿波銀プラザ)

出品者:阿部隆雄・大津勝治・岡本早苗・岸 和幸・岸田義一・滝島豊美・西岡まゆみ
島 祥子・板東泰雄・上野照文・井上憲治

◎第45回ナルトピンぼけクラブ写真展(3月21日(金)～23日(日)キョーエイ鳴門駅前店)

出品者:木田英之・賀川泰弘・小川 勝・元木 強・武知 雅

◎第15回ニッコールクラブ徳島支部写真展(4月18日(金)～20日(日)徳島市シビックセンター)

出品者:阿部啓三・秋田召旨・井藤光章・川真田慶治・櫛淵 魏・佐藤義雄・藤川光昭
古井謙吉・堀口幸男・増田 寿・三木理司・森 光・森 賢一

◎第10回写好館クラブ写真展(4月18日(金)～20日(日)徳島市ヨンデンプラザ)

出品者:木田英之・岸田義一・藤本英子

◎第31回サンカ会写真作品展(4月19日(土)～21日(月)徳島市シビックセンター)

出品者:田中伸廣・森内昭男

◎剣山・私の一枚写真展(5月2日(金)～20日(火)徳島市シビックセンター)

出品者:岩崎英昭・木田英之・久保英樹

◎第14回「UNIT - D」写真展(5月9日(金)～11日(日)徳島市阿波銀プラザ)

出品者:井上憲治・上野照文・多川静守・野口佳一・橋本圭祐・林敏彦・堀口幸男
増田 寿

◎木田英之「塾」課題写真展(5月30日(金)～6月1日(日)徳島県立近代美術館ギャラリー)

出品者:木田英之・林 好一

◎第37回写真同人「炎」作品展(5月30日(金)～6月1日(日)徳島市シビックセンター)

出品者：阿部啓三・井藤光章・井上憲治・岡本早苗・川真田慶治・櫛淵 魏・佐治 孝
佐藤義雄・武林君子・田村泰弘・伊達照子・土橋成行・野口佳一・林 敏彦
古井謙吉・堀口幸男・森 賢一

◎第20回ライカクラブ写真展（6月20日（金）～22日（日）徳島市シビックセンター）

出品者：山田勝二

◎第49回光画会

入賞者 榎本真悟

第99回東京研展 6月28日（土）～7月6日（日）東京都美術館

会員出品：佐藤義雄

入賞者：谷 嘉明・山口正明

◎上野照文阿波踊り写真展「阿波の煌めき・Ⅱ」（8月6日（水）～11日（月）阿波銀プラザ）

◎第4回木田英之と合同クラブ展（9月5日（金）～7日（日）徳島県立近代美術館ギャラリー）

出品者：小川 勝・賀川泰広・岸田義市・木田英之・武知 雅・林 好一・藤本英子

◎第9回写真同人「光」写真展（9月5日（金）～7日（日）徳島市シビックセンター）

出品者：田村泰弘・林 敏彦・姫野博司・福井邦博・福井純子・福田 勉

◎第5回グループフォト23写真展（9月5日（金）～8日（月）阿波銀プラザ）

出品者：上野照文・大西啓子・岸 和幸・岸田義一・滝島豊美・田中伸廣・西岡まゆみ
吉田隆之

◎第62回二科展写真部門（9月2日（水）～15日（月）東京・国立新美術館）

会員出品：大和健司・森住 博 会友出品：平野史子・西野倫子・宮前 稔

入 選：秋山修一・幾田茂仁・石川徹雄・梅本貞範・榎本真悟・織野明弘・古字智子

田中義孝・土橋成行・富岡佳代子・早瀬 茂・平澤澄子・増田 寿・大和章人
山本正敏

◎第54回写楽会写真展（9月26日（金）～28日（日）徳島市シビックセンター）

出品者：上野照文・川真田慶治・岸田義市・櫛淵紳哉・櫛淵 魏・滝島豊美・西岡まゆみ
板東泰雄・古井謙吉

◎祭り写真「11人展」（10月24日（金）～26日（日）徳島市ヨンデンプラザ）

出品者：木田英之・林 好一・林 敏彦・福井邦博・福井純子・福田 勉

◎第13回キャノンフォトクラブ写真展（10月30日（木）～11月4日（火）徳島市阿波銀プラザ）

出品者：秋山修一・野口道子・橋本 勝・林 好一

◎写真クラブ八丁目写真展（11月1日（土）～3日（月）徳島市シビックセンター）

出品者：富岡佳代子・森内昭男

◎きらく写真倶楽部～第7回風景写真展～

出品者：新居 奏

◎第44回日本リアリズム写真集団支部展（11月28日（金）～30日（日）徳島市ヨンデンプラザ）

出品者：木田英之

◎岸田義市写真展「私の見た高越山」（12月1日（月）～13日（土）吉野川市山川町研修センター）

◎第4回グループフォト23写真展 in 徳島阿波おどり空港 12月29日（月）～2015年1月14日（水）

出品者：大塚 尚・大西啓子・岸 和幸・岸田義市・熊谷美智子・斎藤幹夫・滝島豊美
西岡まゆみ・吉田隆之・上野照文

彫 刻 部

部 会 長 松 永 勉

年間展望

◎第 22 回放美展（平成 26 年 5 月 2 日（金）～ 6 日（火） あわぎんホール）

今回の出品総数は 15 点であった。前回より 5 点多い。毎年彫刻部門への出品が気になる。今年も応募数としては少ないが、質的な内容は保たれていた。彫刻素材に多様性があり、鉄、石、ガラス、紙など作家のイメージに合った材料と真摯に向き合い格闘している様子が伝わる作品が目立った。今後も素材と対話しながら制作を続けてほしいと思っている。

放美賞を受賞した大貝寿子さんの“オモテナシカラ芽ガダタヨ”は粘土を焼成したセラミックでできており、真白い台座の上に赤い造形物が見る者に強いインパクトを与える。果実から芽へと変化していくことで一つの物語が出来上がっており、イメージの膨らむ力作である。大貝さんは毎回熱心に彫刻について研究され、得意とする粘土を使った造形で自分の世界を見つけだしているように思う。今後も頑張してほしい。

優秀賞に選ばれた横島寛さんの“三郎の薫”は紙やウレタンを主な素材とし、風や流れ、魚の生き生きとした瞬間を巧みに表現している。風景を作品にとり入れ表現するという難しさに正面から立ち向かう作者の姿がこの作品からよく伝わってくる。これまであまり見られない方法で制作しているので、さらに発展させてほしい。

また、梅岡トヨ賞には岡田朋さんの“石頭”が選ばれた。岡田さんは昨年に続いて同じ賞を受賞した。石彫の仕事で、石の加工は非常に根気のいる作業であるが、アモイ像を思わせる力作は、力強さと量的な迫りを感じさせる出来となっている。欲を言えば、台座との関連性が今後の課題であろう。以上が審査評として述べられた。次回作を期待したい。

（今回の審査は、居上真人、井下俊作、鎌田邦宏が務めた）

◎第 69 回県美術展（平成 26 年 10 月 11 日（土）～ 19 日（日） あわぎんホール）

今回の審査員には多摩美術大学教授で彫刻家の村井進吾先生にお願いした。今年の出品総数は 20 点であった。そのうち入賞・入選作品には 12 点選ばれた。総数では前回より 7 点増えている。もともと彫刻は、制作人数の少ない分野のため、毎回出品数が気になるが、少し増えたことで喜ばしい。さらに、この分野の面白さを表現できる作家の掘りおこしができればと思う。

入賞・入選作品の 12 点については、それぞれ独自の手法で特徴のある世界を作り、見ごたえのあるレベルの高い作品が揃った。特に賞を競った作品については、どの作品も優れた技術で大作を出品され、地道にこの分野で頑張っている作家の姿を見せていた。村井先生には、時間をかけ、丁寧に審査していただき適切な評価をしてもらった。また、出品者に対しては、親切なアドバイスやコメントを頂戴した。

審査評としては、「素材や造形が多様で、独創的な力作が多くみられた。審査では、一つの

作品としての完成度や見る者に伝わるエネルギー、独自性を重視した。入賞作品はどれも個性あふれ、力量が伯仲していて甲乙つけ難かった。」と述べられた。

特選「徳島市長賞」に選ばれた二宮治夫さんの「慈眼の果て」には、「丸太を折った荒々しさを石の存在がうまく引き出し強めている。構成がしっかりしており、作品のエネルギーが強く表われているが、石と木の組み合わせ方にはより良くなる余地を残している。」との評価をいただいた。二宮さんは、これまで一貫して原木に近い丸太をいろいろな見せ方で構成する表現をしている。今回は初めて石を取り込んで、丸太の中にアクセントをつけた。その結果、力強い表現となって、自分なりの主張がより強くできたのではないかと思う。さらに発展制作され、次回も期待したい。

準特選の武田亜希子さんの作品「宙色メロディー」には、「曲線と直線を組み合わせて表現した抽象作品で、構成が整っていて完成度の高さが際立つ。よくまとまっているが、もう少し冒険すると、さらに魅力が増す。」との評価であった。武田さんは、彫刻家としてエネルギーに活動している。県展では、何度も受賞し、力量のある作家だ。技術も方向性も一定の高いレベルである。今回も鉄の素材で自分の世界を上手に表現していた。今後もさらなる飛躍を期待したい。

同じ準特選に選ばれた高丸公相さんの作品「宙繭」については、「高度な技術を要するアクリル樹脂を使った労作。素材の特性を生かして虚と実を表現しており、主題がはっきりとしていて、タイトルと作品がよく合っている。」と言われた。高丸さんは、ずっとアクリル樹脂を使った独自の作品を研究し、発表を続けている。特異な表現方法であり、今後もこの分野で頑張ってもらいたいと願っている。

全体の評としては、「彫刻を制作する上で考えてほしいのは、作品と台座の関係だ。台座には、作品を生かす必然性がなければならない。台座は何のためにあるのか、台座をどうとらえるのか、作品と床と台座の関係性を意識することが、彫刻の完成度をより高めるだろう。」と話された。

会員消息 (県展・放美展関係は除く。順不同)

| | | | |
|-------|---------|---------------------------|-----------------|
| 居上 真人 | 7月 | 現代彫刻小品展 in 浜田 出品及びワークショップ | 浜田市世界こども美術館 |
| | 8月 | 十日町石彫シンポジウム歴代作家展 | 新潟県十日町市 |
| | 9月 | 第99回二科展 会友出品 | 国立新美術館 |
| | 10月 | 現代彫刻小品点 in 石見銀山 | 島根県大田市町並み交流センター |
| | 10月～11月 | 第52回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島中央公園 |
| 井下 俊作 | 3月 | 大阪彫刻家会議創立45周年記念「春」彫刻展 | MU心齋橋画廊 |
| | 10月～11月 | 第52回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島中央公園 |
| | 10月 | 45周年記念大阪彫刻家会議「花と彫刻展」招待出品 | 大阪鞆公園 |
| | 11月 | 森・art なか 2014 出品 | 那賀町あいあいランド |

| | | | |
|-------|-----------------|-----------------------------|----------------|
| 河崎 良行 | 2月 | 第7回現代日本彫刻作家展 | 東京都美術館 |
| | 3月 | 春季徳島二紀展 | 阿波銀プラザ |
| | 5月 | 花とみどり・いのちと心展 | 国営昭和記念公園 |
| | 7月 | 第3回われらの地平線 | 日本橋三越本店美術特撰画廊 |
| | 8月 | 第29回徳島二紀展 | 徳島県立近代美術館 |
| 10月 | 第68回二紀展 | 国立新美術館 | |
| 鎌田 邦宏 | 3月 | 春季徳島二紀展 | 阿波銀プラザ |
| | 3月 | 第6回二紀会会員彫刻展 | 東京銀座 ギャラリー青羅 |
| | 7月 | 現代彫刻小品展 in 浜田 | 浜田市こども世界美術館 |
| | 8月 | 第29回徳島二紀展 | 徳島県立近代美術館ギャラリー |
| | 10月 | 第68回二紀展 | 国立新美術館 |
| 10月 | 現代彫刻小品展 in 石見銀山 | 島根県太田市町並み交流センター | |
| 木村 大志 | 3月 | 個展 | moimoi gallery |
| | 8月 | 第29回徳島二紀展 | 徳島県立近代美術館ギャラリー |
| | 10月 | 第68回二紀展 | 国立新美術館 |
| 上月 佳代 | 2月 | 第42回徳島市芸術祭美術展 | シビックセンター |
| | 3月 | 春季徳島二紀展 | 阿波銀プラザ |
| | 4月 | 女子美OG展 in 関西 (い・の・ち咲く) 2014 | 兵庫県立原田の森ギャラリー |
| | 7月 | 第6回女子美術大学同窓会徳島支部展 | 阿波銀プラザ |
| | 8月 | 第29回徳島二紀展 | 徳島県立近代美術館ギャラリー |
| | 10月 | 第68回二紀展 | 国立新美術館 |
| 佐藤 隆 | 10月～11月 | 第52回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島中央公園 |
| 武田亜希子 | 2月 | 第42回徳島市芸術祭美術展特別出品 | シビックセンター |
| | 2月～4月 | 武田亜希子彫刻展 | 徳島市図書館ギャラリー |
| | 3月 | 春季徳島二紀展 | 阿波銀プラザ |
| | 8月 | 阿南富岡まちなみ芸術祭トミナーレ・ワークショップ | 阿南市富岡商店街 |
| | 8月 | 第29回徳島二紀展 | 徳島県立近代美術館ギャラリー |
| | 12月 | 第43回歳末チャリティ作品・色紙即売展 | 徳島そごう |
| 長岡 強 | 4月 | 第44回日彫展 日本彫刻会運営委員として出品 | 東京都美術館 |
| | 11月 | 第46回日展 会員出品 | 国立新美術館 |
| 濱口 恵 | 1月 | 第46回モダンアート展出品 | 阿波銀プラザ |

| | | | | |
|----|----|---------|-------------------------------------|------------------|
| | | 10月～11月 | 第52回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島中央公園 |
| 林 | 一美 | 2月 | 同好会作品展 | 人材センター・ホテルサンシャイン |
| 東 | 光司 | 1月 | 第46回モダンアート徳島支部展 | 阿波銀プラザ |
| | | 4月 | 第64回モダンアート展 | 東京都美術館 |
| | | 5月 | 第64回モダンアート展 | 京都市美術館 |
| | | 6月 | 第64回モダンアート展 | 愛知県美術館 |
| | | 7月 | 第64回モダンアート展 | 福岡市美術館 |
| | | 10月 | 2014年度モダンアート協会受賞作家展 | 東京銀座 井上画廊 |
| 松永 | 勉 | 2月 | 第42回徳島市芸術祭美術展 特別出品 | シビックセンター |
| | | 3月 | 大阪彫刻家会議創立45周年記念「春」彫刻展 | MU心齋橋画廊 |
| | | 3月 | 第13回KAJIMA彫刻コンクール入選作品展 | KIビルアトリウム |
| | | 4月 | 第13回KAJIMA彫刻コンクール入選作品展 | 泉大津市「あすとHALL」 |
| | | 6月 | 松永勉彫刻展「関寛齋に捧げる」 | 北海道陸別町 |
| | | 7月 | 現代彫刻小品展 in 浜田 | 浜田市世界こども美術館 |
| | | 9月 | 第69回行動展 会員出品 | 国立新美術館 |
| | | 10月 | 45周年記念大阪彫刻家会議「花と彫刻展」招待出品 | 大阪鞠公園 |
| | | 10月 | 現代彫刻小品展 in 石見銀山 | 島根県太田市町並み交流センター |
| | | 10月 | 第69回行動展大阪巡回展 | 大阪市立美術館 |
| | | 10月 | 王子・飛鳥山マンション「THE FIRST」に「明日へのしるべ」を設置 | 埼玉県 |
| | | 10月～11月 | 第52回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島中央公園 |
| | | 11月 | 現代日本彫刻展第26回UBEビエンナーレ入選模型展 | 山口県宇部市 |

美術工芸部

部会長 七 條 猪三郎

年間展望

◎第 22 回放美展 平成 26 年 5 月 2 日（金）～5 月 6 日（火）あわぎんホール

平成 26 年（2014 年）第 22 回放美展美術工芸部門は、出品点数 124 点で昨年をやや下回った。ジャンル別では、陶芸が約 40%、押し花とパッチワークが各 20%と続いた。

放美賞の真田八重子さん「蜘蛛の糸」（パッチワーク）は黒地に虹色のコントラストが美しい。レンズを通して見ると美しく七色に輝く蜘蛛の糸を題材にした着眼点とその時の感動を見事に創作に生かした作品に審査員一同、脱帽した。

優秀賞 5 点のうち、久保英樹さん「彩色花器」（陶芸）は緑色を基調とした大胆な造形がすばらしい。同じく優秀賞の吉野由紀さん「悠久の調べ」（押し花）は、新しいアイデアが取り入れられ、今後の一つの方向性を示している。梅岡トヨ賞の桜木優樹君の「永遠」（押し花）は、将来性を感じさせる作品だった。

今回の審査では、創造性が高く、新しい工夫を表現に生かした作品を選んだ。実力向上のために、柔軟な発想で独自の世界観や技術の研究に取り組んでほしい。

（審査員 橘 恵・松下雄介・斎藤和彦）

| | | | |
|-------|---------|----------------|----------|
| 放美賞 | 真 田 八重子 | 「蜘蛛の糸」 | （パッチワーク） |
| 優秀賞 | 久 保 英 樹 | 「彩色花器」 | （陶芸） |
| 〃 | 手 塚 健 一 | 「中東礼賛」 | （陶芸） |
| 〃 | 東 條 容 子 | 「シンフォニー」 | （パッチワーク） |
| 〃 | 原 田 明 實 | 「光のシャワー・まぶしいな」 | （染） |
| 〃 | 吉 野 由 紀 | 「悠久の調べ」 | （押し花） |
| 梅岡トヨ賞 | 桜 木 優 樹 | 「永遠」 | （押し花） |

◎第 69 回県美術展 平成 26 年 10 月 11 日（土）～10 月 19 日（日）あわぎんホール

平成 26 年（2014 年）、第 69 回県美術展、美術工芸部門の応募点数は 166 点、出品者は 120 人で、昨年とほぼ同じでした。

分野別にみると、陶芸が 67 点で昨年より少し増え最多で次にパッチワーク、押し花、染織、ガラス、金工七宝、人形、木工、かずら、漆、紙粘土、切り絵など多くの分野の作品が出品された。

今回の審査員は広島市立大学美術学部名誉教授の若山裕昭先生にお願いした。

審査は厳正を極め、午後 1 時から 5 時まで長時間をかけ丁寧に審査をしていただいた。

審査の総評は、藍染をはじめ、徳島独自の文化と歴史を感じさせるような力作が多くそれぞれのジャンルで表現力の高い、意欲的な作品がそろっていた。非常に難しい審査だったが、その中でも、アートの可能性や将来性を意識して賞を選出した。

特別賞（徳島新聞社長賞）前野亮治さんの「秋光」は、素材の特性を生かした作品の斬新さを評価した。優れた先進性の一方で素朴さも兼ね備えており、人を引きつける魅力を感じる。染め色も美しく、織物の新たな方向性を示す作品だろう。

特選の斎藤康男さんの「清翔」（ガラス工芸）はベネチアングラスのように繊細な作風が特長に挙げられる。ガラスの中に使われている箔が周囲の光を拾い、きれいに輝くのもいい。技巧に優れており、将来が楽しみな作家の一人だ。

陶芸は多種多様な表現の作品が並んだが、彫刻のように力強い造形性の高いものを受賞作として選んだ。パッチワークは全国レベルの作品がたくさんあり、あらためて徳島の技術の高さを感じさせられた。

作品づくりで最も重要なのは、「こうあるべきだ」という先入観を持たないことだ。

例えば、花器を作る場合、口は上にある必要はなく、まず花がどう生きるかを考えた上で全体の形をデザインしてほしい。立体造形とは、そういうところから始まるものだ。

花器を置く部屋も人それぞれで、その空間にふさわしい造形に仕上げることができれば、作品には自然と説得力が出てくる。自主規制せずに制作に取り組み、自由奔放な、独自性のある作品を堂々と自分の感覚を生かして作ってほしい。

若山裕昭先生には、今回の厳しい審査を通じて、心温まるご激励や貴重なご指導に、改めて深甚の謝意を表し、今後の発展の糧としたい。

| | | | |
|-------------|-------|-------------|---------|
| 特選（徳島新聞社長賞） | 前野亮治 | 「秋光」 | （染織） |
| 特選 | 斎藤康男 | 「清翔」 | （ガラス） |
| 準特選 | 近藤美佐子 | 「しなやかに・・・」 | （染） |
| 〃 | 原田明實 | 「星のきらめき・・・」 | （染） |
| 〃 | 矢野藍游 | 「華の舞」 | （染） |
| 〃 | 松本宏 | 「波の緒IX」 | （陶芸） |
| 奨励賞 | 尾藤芳尚 | 「Line」 | （ガラス） |
| 〃 | 長尾敏子 | 「羽ばたいて」 | （七宝ガラス） |
| 〃 | 大貝貞雄 | 「母性」 | （陶芸） |

会員消息（県展・放美展は除く）

| | | | |
|-------|--------------------|-----|--------------|
| 吉田 眞弓 | ・第11回きもの街のキルト展 | 9月 | 十日町市民体育館 |
| | ・キルトフェスティバル in みたね | 10月 | 三種町山本ふるさと文化館 |
| | ・第32回もめんの詩展 | 11月 | あわぎんホール |
| 丸居 哲雄 | ・ゆるい展 | 4月 | 県立近代美術館 |
| | ・エナジー2014 | 10月 | 県立近代美術館 |
| | ・上板町文化祭 | 11月 | 上板町中央公民館 |
| 松下 慶一 | ・松下慶一作陶展 | 5月 | 鳴門市ドイツ館 |

| | | | |
|--------|----------------------------------|-----|--------------|
| 小栗加代子 | ・キルトウイーク長野小栗加代子記念個展 | 4月 | 長野Mウエーブ |
| | ・第53回現代工芸美術展 | 4月 | 東京都美術館 |
| 落久保重利 | ・日本彼方此方展プレ展覧会(徳島展) | 8月 | 県立近代美術館 |
| 多智花佐代子 | ・第53回日本現代工芸美術展 | 4月 | 東京都美術館 |
| | ・改組新第1回日展 | 10月 | 国立新美術館 |
| | ・第52回現代工芸美術家協会四国会展 | 12月 | 高松三越 |
| 矢野 藍游 | ・平成26年度全国現代クラフト展(徳島県教育長賞) | 9月 | あわぎんホール |
| 四十宮年代 | ・第42回徳島市芸術祭美術展(特別出品) | 2月 | シビックセンター |
| 前野 亮治 | ・あかり展 | 3月 | 粟カフェ |
| | ・前野亮治染織展 | 7月 | 風知草 |
| 矢野 款一 | ・日本工芸会正会員展 | 5月 | 東京日本橋三越 |
| | ・日本工芸会四国支部展(特別出品) | 10月 | 高松三越 |
| 大貝 寿子 | ・第42回徳島市美術展(無鑑査) | 2月 | シビックセンター |
| | ・第42回県手工芸展(賛助出品) | 11月 | あわぎんホール |
| | ・第23回高越陶芸クラブ展 | 12月 | 貞光ゆうゆう館 |
| 大貝 貞雄 | ・第42回徳島市美術展(招待) | 1月 | シビックセンター |
| | ・第42回県手工芸展(招待) | 11月 | あわぎんホール |
| | ・第23回高越陶芸クラブ展 | 12月 | 貞光ゆうゆう館 |
| 越 由子 | ・第12回キルト日本展(出版社賞) | 4月 | 東京都美術館 |
| | ・第53回日本現代工芸美術展 | 4月 | 東京都美術館 |
| | ・改組新第1回日展 | 10月 | 国立新美術館 |
| | ・第32回ふう布パッチワークキルト展 | 11月 | シビックセンター |
| | ・第11回東吉野パッチワークキルト展 | 12月 | 阿波銀プラザ |
| | ・第52回現代工芸美術家協会四国会展 | 12月 | 高松三越 |
| 斎藤 和彦 | ・ミレー友好協会展 | 4月 | 大阪市立美術館 |
| | ・ミレー友好協会展 | 4月 | 愛知県美術館 |
| | ・日本七宝作家協会国際展 | 7月 | 東京都美術館 |
| | ・日本七宝作家協会広島展 | 8月 | 広島県美術館 |
| 森 賢一 | ・第53回日本現代工芸美術展 | 4月 | 東京都美術館 |
| | ・改組新第1回日展 | 10月 | 国立新美術館 |
| | ・第52回現代工芸美術家協会四国会展 | 12月 | 高松三越 |
| 内藤 久子 | ・かがみはらキルト展 | 3月 | 各務原市産業文化センター |
| | ・AQSパヂューカキルトショーコンテスト | 3月 | USAパヂューカ |
| | ・第11回きものの街キルト展 | 9月 | 新潟県十日町市 |
| | ・第29回国民文化祭あきた2014キルトフェスティバルinみたね | 10月 | 秋田県三種町 |
| | ・第42回全国公募県手工芸展 | 11月 | あわぎんホール |
| | ・第32回もめんの詩パッチワークキルト展 | 11月 | あわぎんホール |
| 天野 和子 | ・第53回日本現代工芸美術展 | 4月 | 東京都美術館 |

| | | | |
|-------|------------------------------------|-----|--------------|
| | ・長野キルトウイーク 2014 | 4月 | 長野市ビッグハット |
| | ・第29回国民文化祭あきた2014キルトフェスティバル in みたね | 10月 | 秋田県三種町 |
| | ・第42回全国公募県手工芸展 | 11月 | あわぎんホール |
| | ・第32回もめんの詩パッチワークキルト展 | 11月 | あわぎんホール |
| | ・第12回徳島版画展(眉峰賞) | 11月 | あわぎんホール |
| | ・第52回現代工芸美術家協会四国会展(奨励賞) | 12月 | 高松三越 |
| 藤井 哲信 | ・第22回テーブルウエア大賞(宮田亮平審査員賞) | 2月 | 東京ドーム |
| | ・藤井哲信ガラス展 | 3月 | ギャラリーリーブ・アート |
| | ・藤井哲信ガラス展 | 5月 | 珈琲店バンサン |
| | ・2014高岡クラフト展 | 10月 | 大和高岡店 |
| | ・第3回そば猪口アート展 | 10月 | 安曇野高橋節郎記念美術館 |
| 野村 裕子 | ・大阪キルトウイーク 2014 | 5月 | ATCトレードセンター |
| | ・第9回法花教室キルト展 | 5月 | 県立近代美術館 |
| | ・ふう布パッチワークキルト展 | 11月 | シビックセンター |
| 龍木 秀子 | ・第53回日本現代工芸美術展 | 4月 | 東京都美術館 |
| 横井嘉世恵 | ・第42回徳島市美術展(招待) | 2月 | シビックセンター |
| | ・東富田文化展 | 8月 | 東富田コミセン |
| | ・宮本薫グループ展 | 9月 | 阿波銀プラザ |
| 近藤佐起江 | ・第26回全国手芸コンクール in ひょうご(朝日新聞社賞) | 10月 | 兵庫県民会館 |
| 平井 恵子 | ・第53回日本現代工芸美術展 | 4月 | 東京都美術館 |
| | ・第53回日本現代工芸美術展近畿展(京都新聞社賞) | 4月 | 京都市美術館 |
| | ・かんじる比良2014作家と職人展 | 5月 | 比良森の家 |
| | ・第65回大津市美術展(無鑑査) | 7月 | 大津市歴史博物館 |
| | ・第46回滋賀県工芸美術協会展 | 9月 | 八日市文化芸術会館 |
| | ・改組新第1回日展 | 10月 | 国立新美術館 |
| | ・改組新第1回日展 京都展 | 12月 | 京都市美術館 |
| 大西 道夫 | ・第34回道草展 | 12月 | 喫茶やまなみ |

書道部

部会長 荒井 彭 仙

年間展望

◎第 22 回放美展 (5月2日(金)～6日(火・祝) あわぎんホール)

応募数 211 点、応募人数 153 名 (前回 236 点、171 名) であり、25 点 18 名の減少となり、点数は、一昨年とほぼ同じであったものの人数の減少は大きい。

現在の割当壁面の中で入選率を上げるための改革手段として、全部門に於いて役員の出品を控え、審査員のみ出品とした。壁面の確保により、今回は 54% の入選率となった。

展示に於いてはスロープ側の壁面に前衛作品が配され、大らかな前衛書表現と会場空間が上手く融合した事により、展示効果がみられたようである。

今回は放美賞 1 点、優秀賞 9 点、梅岡トヨ賞 1 点、入選 108 点と審査員 3 点を合わせて 122 点の展示となった。
(梅岡トヨ賞:高校生対象の賞)

審査員: 山口華城・亀石文苑・前川古舟

◎第 69 回県美術展 (第 2 期 10月21日(火)～28日(火) あわぎんホール)

今回の応募数は 805 点、出品者数 494 名 (前回 847 点、515 名) であり、42 点、21 名の減であった。(漢- 36、仮+ 10、近- 13、前- 3)

審査員は渡部 清・田頭一舟・鈴木まつ子の三先生で、審査の結果、入賞を含む入選数は 363 点となり、入賞作品は、今回も表現上各々傾向の違ったものが選ばれた。

審査は部門に於いて慎重に、迅速に…、と変化のある審査風景が見られ、その視点は、どちらも制作者に対しての敬意の表れを感じた。漢字・篆刻に於いては、本文の鍛錬された技法ばかりでなく、落款への配慮も審査の大きな要因とされたようである。

入落については、入選枠があるからと心痛めながらの審査をされ、書き込むことが訴える力に繋がるので、参考に…と結ばれた。

会員の計報

H26. 8. 9 近藤静苑先生 (77) 美協書道部常任委員

書道部委員として「県展 50 年の歩み」の編集委員を担当される等、幅広くご尽力いただきました。ご冥福をお祈りいたします。

◎社中展・個展等

| | | | |
|------------------|-----------------|---------|--------|
| ○第40回記念双暢会書展 | あわぎんホール | 1月10日～ | 13日 |
| ○第16回東南光書作展 | あわぎんホール | 1月10日～ | 13日 |
| ○第36回泉心会書作展 | 近代美術館 | 1月24日～ | 26日 |
| ○第38回東玄書道会展 | 阿波銀プラザ | 1月31日～ | 2月2日 |
| ○第34回書研社展 | アミコ・シビックセンター | 2月28日～ | 3月2日 |
| ○第48回清潮書作展 | あわぎんホール | 3月7日～ | 9日 |
| ○第5回琴清会書展 | アミコ・シビックセンター | 3月7日～ | 9日 |
| ○第23回謙慎書道会西部展 | 県立文学書道館 | 3月26日～ | 30日 |
| ○第28回正鋒会書展 | あわぎんホール | 3月28日～ | 30日 |
| ○春藤大耿米寿記念書作展 | 県立文学書道館 | 4月11日～ | 13日 |
| ○第42回光輪社書作展 | あわぎんホール | 4月11日～ | 13日 |
| ○長谷美峰書作展 | アミコ・シビックセンター | 4月28日～ | 30日 |
| ○第59回成蹊書道会展 | アミコ・シビックセンター | 5月9日～ | 11日 |
| ○第8回幽の会書展 | アミコシビックセンター | 5月16日～ | 18日 |
| ○第21回歌の会書作展 | あわぎんホール | 6月13日～ | 15日 |
| ○第11回五果会書道展 | 県立文学書道館 | 6月13日～ | 15日 |
| ○墨にこだわった書道展 | 県立文学書道館 | 6月20日～ | 8月3日 |
| ○第27回長玄書道会展 | 阿波銀プラザ | 7月4日～ | 6日 |
| (併催) 長原阜聖卒寿記念書作展 | | | |
| ○第1回和光社書展 | アミコシビックセンター | 7月11日～ | 13日 |
| ○第63回松林会書展 | 阿波銀プラザ | 7月25日～ | 27日 |
| (併催) 松本深翠米寿記念展 | | | |
| ○第41回双暢会展 | 大和高田市文化会館 | 8月29日～ | 31日 |
| ○第3回青藍会書作展 | あわぎんホール | 8月29日～ | 31日 |
| ○第79回書芸院展 | あわぎんホール | 9月4日～ | 7日 |
| ○第44回直心会書展 | あわぎんホール | 9月5日～ | 7日 |
| ○第59回書協人展 | あわぎんホール | 9月12日～ | 14日 |
| ○第13回一心会書展 | 阿波銀プラザ | 9月26日～ | 28日 |
| ○第10回向井京子三世書展 | うだつの町並み時代屋ギャラリー | 10月26日～ | 11月16日 |
| ○第5回春琴とその仲間たち展 | アミコシビックセンター | 11月15日～ | 17日 |
| ○第18回せゝらぎ書展 | アミコシビックセンター | 11月22日～ | 24日 |
| ○第10回吉野川市書人会作品展 | 吉野川市文化研修センター | 11月22日～ | 24日 |
| ○第20回六書会書展 | ヨンデンプラザ徳島 | 12月5日～ | 7日 |

| | | | | |
|-----------|-------------|--------|---|-----|
| ○第35回臨池書展 | アミコシビックセンター | 12月6日 | ～ | 7日 |
| ○第19回尚真書展 | あわぎんホール | 12月12日 | ～ | 14日 |
| ○第5回流輝会書展 | アミコシビックセンター | 12月19日 | ～ | 21日 |

会員消息 (県展・放美展・社中展は除く)

役員で出品した人・入賞者 (平成26年1月から12月) 順不同

○第36回清潮全国展 (大阪市立美術館 1/15～19)

参 与 西 南 龍

清潮書道会理事長賞 大野娟鳳

○第55回太玄会書展 (東京都美術館 1/19～26)

太 玄 賞 馬居李帆

特 選 柏尾美峯

第50回太玄会役員書展 (東京銀座画廊美術館 5/6～11)

理事運営委員 春藤大耿

理事・実行委員 近藤静苑・中尾勝子・富久鳴泉・南 溪石

理 事 鈴木恵理・田上洋香・岡島順子・下村清子

審 査 会 員 瀬藤豊子・廣島白鷺・弘田長風

○第45回正筆会 菁華書作展 (東京銀座画廊美術館 1/24～26)

常任総務理事 亀石文苑

総 務 理 事 竹田和代

○第65回毎日展記念 毎日現代書巡回展高松展 (高松市美術館 1/29～2/2)

審 査 会 員 荒井彭仙・玉城乾香

会 員 長原阜聖・芝原醒鶴・永松春苑・浜 佳香・多田清芳・岩本志豪

吉田和婉・平岡幽琴・長原阜月・中川観山

推 薦 高瀬大峯・幸田清尚・川端康清・岸 緑香・丸岡香貞・朝三阜如

大西清葩・岡崎啓香・武田玲香・木田史香・山口幽径・中川一鳳

○第50回記念創玄展 (国立新美術館 3/6～16・東京都美術館 3/10～16)

一 科 審 査 員 荒井彭仙・長原阜聖・玉城乾香・浜 佳香

二 科 審 査 員 永松春苑・芝原醒鶴・多田清芳・岩本志豪

審 査 会 員 吉田和婉・丸岡香貞・平岡幽琴・岸 緑香・朝三阜如・長原阜月

山口幽径・大西清葩・岡崎啓香

特 選 坂尾竟成・武田玲香

秀 逸 川端康清・佐藤恵和・丸田恵風
準 二 科 賞 荒井遥風

○第 76 回謙慎書道会展 (東京都美術館 3/21 ~ 28)

(池袋サンシャインシティ文化会館 3/19 ~ 27)

理 事 米澤東籬
春 興 賞 米澤東籬

○第 49 回雪心会展 (奈良県文化会館 4/2 ~ 6)

F ク ラ ス 高田青蓮・矢部知子・沖田唐谷・青木東原
雪 心 会 賞 米倉由加里

○第 68 回日本書芸院展 (大阪市立美術館 4/8 ~ 13、6/24 ~ 6/29)

(大阪国際会議場 4/15 ~ 20)

参 与 東 南光・薄田玲泉・能仁華瑤
評 議 員 亀石文苑・伊丹東龍・辻 紅雲
一科審査会員 矢部知子・青木東原・河野真流・森 光翔・宮守崇流・上田輝芳
清水桂月・八木藍玉・松永翠月・沖田唐谷・竹田和代・東野秀蕙
二科審査会員 川村春琴・赤川景舟・山本景琴・井上虹雨・倉本景雨・遠藤玉流
片山芳明・横田典子・佐野収華・河野多美・佐川菁流・背川景玲
井上景玄・竹内虹舟・松本景芳・阿部博子
史 邑 賞 上田輝芳
大 賞 石井祥洸・赤川景舟・井上虹雨・吉田翠彩・加村喜美子
特 別 賞 林 美雪・谷 玲琴・田中子葉・遠藤恵泉・伊藤景風
準 特 別 賞 皆谷芳穂
特 選 上田美智・大本華越・安友彰子・米倉由加里・岡部比登美
一科会員推薦賞 上野益泉・折野幸峰・大下江波・中川恵風
二科会員推薦賞 大野娟鳳・笠原芳翠・陶久房泉

○第 37 回日本かな書展 (東京日本橋高島屋 5/14 ~ 19)

監 事 三浦富美代

○第 38 回由源全国書道展 (大阪市立美術館 5/27 ~ 6/1)

常 任 無 鑑 査 川村春琴
常 任 委 員 谷 玲琴・丸岡春暁
委 員 土井和翔・中村春岳

○第 42 回日本の書展 (大阪国際会議場 5/29 ~ 6/1)

招 待 東 南光・能仁華瑤・清水桂月・薄田玲泉・上田輝芳・河野真流
宮守崇流・玉城乾香

秀 拔 選 武市鳴雲・川村春琴・赤川景舟・井上虹雨・倉本景雨・森 光翔
山本景琴・佐川菁流・井上景玄・背川景玲・松本景芳

○第 32 回日本詩文書作家協会展 俳句と書の世界(セントラルミュージアム銀座 6/3～8)

評 議 員 玉城乾香

○2014 京展(京都市立美術館 6/3～19)

京 都 市 長 賞 向井京子

○第 66 回朝陽書道会展(岡山県天神山文化プラザ 6/24～29)

副 理 事 長 薄田玲泉

常 任 総 務 河野真流・上田輝芳・宮守崇流・井上虹雨

常 任 理 事 赤川景舟・倉本景雨・佐川菁流・竹内虹舟・森 光翔・山本景琴
井上景玄・背川景玲・遠藤玉流・松本景芳

○第 52 回水穂書展(京都市美術館 6/27～29)

総 務 向井京子

理 事 森崎玉鈴

水 穂 会 賞 伊藤景風

○第 28 回玄心書道展(兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー 7/3～7/6)

常任総務理事 辻 紅雲

総 務 理 事 東野秀蕙

○第 66 回毎日展(国立新美術館 7/9～8/3)(東京都美術館 7/16～23)

(愛媛県立美術館 8/13～17)

審 査 会 員 荒井彭仙・玉城乾香

会 員 長原皐聖・芝原醒鶴・永松春苑・浜 佳香・多田清芳・岩本志豪
吉田和婉・平岡幽琴・長原皐月・中川観山

佳 作 高瀬大峯・仁木志香・長尾香蘭

○第 31 回読売書法展(国立新美術館 8/22～31)

(サンメッセ香川 10/24～26)

参 与 清水桂月

理 事 東 南光・能仁華瑤・伊丹東龍・薄田玲泉・河野真流・上田輝芳
亀石文苑・宮守崇流・辻 紅雲・林 美雪・東野秀蕙・駒田水洸
川村春琴・米澤東籬・井上虹雨

幹 事 春藤大耿・倉本景雨・竹内虹舟・佐川菁流・山本景琴・井上景玄
遠藤玉流・背川景玲・松永翠月・河野多美・佐野収華・吉田翠彩
竹田和代

評 議 員 皆谷芳穂・加村喜美子・内田麻紀・赤川景舟・高柳早秀・馬居李帆

片山芳明・鈴木恵理・勝浦光漾・忠津玉燕・田中子葉・阿部博子
石井祥洸・澤本悠洸

読売新聞社賞 河野多美

読売俊英賞 佐野収華・遠藤玉流

読売奨励賞 河野美鶴・皆谷芳穂

特選 高橋芳琴・杉本裕子

秀逸 大野娟鳳・小林青藤・稲江芳祥・石井祥洸・澤本悠洸

○第30回国際蘭亭筆会展（奈良市美術館イトーヨカドー奈良店 10/29～11/3）

日本部理事長副会長 東 南光

○第63回奎星会展（東京都美術館 10/30～11/6）

同人 中川観山

無鑑査 中川一鳳

準特選 佐藤由紀代・島尾西峯

○改組新第1回日展（国立新美術館 10/31～12/7）

入選 伊丹東龍・薄田玲泉・亀石文苑・野口有香・米澤東籬・皆谷芳穂
宮守崇流・中尾勝子・東野秀蕙

○第54回環社展（大阪市立美術館 12/2～7）

顧問 春藤大耿・清水桂月

参事 松本深翠

参与 東 南光・駒田水洗・武市鳴雲・豊浦春光・谷口清水・花本清香
春藤玉秀・馬居李帆

常任理事 能仁華瑤・八木藍玉・松永翠月・横田典子・林 美雪

理事 河野多美・田上洋香・野口有香・鈴木恵理・弘田長風・伊藤景風
大本華越・岡部比登美・南 溪石・佐野収華・石井祥洸・河野美鶴
須見智香・永岡光翠

評議員 恵美春陽・上田美智・谷本真由美・稲井華風・奥田翠香・高柳早秀
磯川味佳・服部紫光・澤本悠洸

特別賞 一宮堆川・島 祥瑤

優秀賞 伊達静蘭

特選 田中紫苑

準会員推薦賞 板東一男

○第66回正筆展（兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー 12/13～14）

常任総務理事 亀石文苑

常任理事 加村喜美子・内田麻紀・齋藤弥生

○第 36 回日本書道学院展（東京都美術館 12/13～20）

審 査 員 赤川景舟・井上景玄・井上虹雨・上田輝芳・皆谷芳穂・河野真流
倉本景雨・佐川菁流・薄田玲泉・住友春陽・背川景玲・竹内虹舟
宮守崇流・森 光翔・山本景琴・遠藤玉流・高橋芳琴

※各社中からの報告を受けて掲載しています。

個人（県内社中に無所属）の方で報告がある場合は掲載内容を 12 月末に部会長宛に御寄稿下さい
（書道部）

デザイン部

部会長 田 中 一 郎

年間展望

◎デザイン部ポスター展「LOVE」(2月14日(金)～16日(日)徳島県立近代美術館ギャラリー)

デザイン部会員15名によるポスター展を久しぶりに開催した。折りしも初日の2月14日はバレンタインデーということもあって、展覧会のテーマを「LOVE」とした。会員それぞれの感性による愛の対象、かたち、捉え方から表現したポスターの旧作、新作、合わせて44点を展示公開した。来場いただいた方には、受付でささやかなチョコレートをプレゼント。会期初日が雪に見舞われるという悪天候にも関わらず、3日間で220名の方々に観覧いただいたことに感謝。

◎第22回放美展(5月2日(金)～6日(火)あわぎんホール)

出品点数121点、出品人数116人。内、高校・大学生が110点、106人で全体の91%を占めた。高校生の出品に支えられている感が非常に強い。

審査には、美協デザイン部より福井章、斎藤繁次、北島豊嗣の3名があたった。放美賞には、山野井宏宗「Abeno mix?」が選ばれた。オバマ大統領の横顔と福沢諭吉の顔半分を掛け合わせた「だまし絵」の手法で描き、経済が本当によくなっているのか実感が伴わないという社会風刺が込められている。明るい背景や文字の配置なども秀逸で知性的な仕上がりは他を圧倒していた。優秀賞には、安友理利子「いつかまたこんな日が・・・」、三木ひより「虚飾の私と素顔の私」、東早紀「今、ケンカしている場合じゃないよ!!」、塩崎智絵「バナナ君といちごちゃん、美味しい出会い!」、美馬匠吾「ロデ男 de ロデオ」が、梅岡トヨ賞には板東未記「しゃこしゃこファンタジー」がそれぞれ選ばれた。他に入選45点選ばれ、計52点が展示された。展示壁面の関係から42.9%という入選率の低さではあるが、出品者の皆さんには今後とも創作意欲を持ち続け、デザイン的な発想に磨きをかけていただきたい。

◎第69回徳島県美術展(第1期10月11日(土)～19日(日)あわぎんホール)

作品搬入日に出品点数を心配せねばならない状態がここ数年続いている。そして今回は、その最少記録を更新してしまった。第66回展では出品点数61点(出品人数45人)、第67回展では61点(41人)、第68回展では77点(48人)、そして今年69回展では57点(44人)という数字は何を物語っているのか。

審査員には、日本グラフィックデザイナー協会会員で、多摩美術大学グラフィックデザイン

学科教授、そして自身のポスター美術館館長でもある秋山孝氏をお迎えし、特選2点、準特選3点、奨励賞3点、入選26点の計34点を選出していただいた。

特選（県美術家協会賞）には、岡田典子「予知限界」が選ばれた。「今の日本の問題点が知性のある声で伝わってくる作品。予知には限界があること、利益を求めることに危機感を持つべきことを訴えている。」という評価をいただいた。特選の斎藤剛（部会員）「ニューランドスケイプ1～光の帝国」は「美しく絵画性の強い作品。ここに描かれているのは、我々が今までに見たことがない新たな風景で、新しい未来を見ようというメッセージが伝わってくる。」と評価された。準特選には梶浦千瑞、吉村敏嗣、安友理利子、奨励賞には林敏雄、板東未記、井原亘が選ばれた。入選の中には部会員の斎藤志津子が選ばれた。入賞、入選に加え、特別出品の坂本ミチカズ、福井章、田中一郎、招待の斎藤繁次、坂野美恵子、敷島のり子の6点を併せて、計40点が展示された。

会員消息（県美術展・放美展は除く）

■天羽宏美

- 2月 徳島県美術家協会デザイン部ポスター展「LOVE」出品
（於：徳島県立近代美術館ギャラリー）
- 2月 第69回徳島県美術展 ポスター、チケット、図録表紙デザイン
〔徳島県美術家協会 徳島新聞社〕（於：あわぎんホール）

■北島豊嗣

- 2月 徳島県美術家協会デザイン部ポスター展「LOVE」出品
（於：徳島県立近代美術館ギャラリー）
- 4月 はなはるフェスタ in 野外ポスター展に観光ポスター出品
（於：しんまちボードウォーク）

■桑原美枝

- 2月 徳島県美術家協会デザイン部ポスター展「LOVE」出品
（於：徳島県立近代美術館ギャラリー）

■斎藤繁次

- 2月 徳島県美術家協会デザイン部ポスター展「LOVE」出品
（於：徳島県立近代美術館ギャラリー）

■斎藤志津子

- 2月 徳島県美術家協会デザイン部ポスター展「LOVE」出品
（於：徳島県立近代美術館ギャラリー）

■坂野美恵子

- 2月 「カンボジア日本大使館展」作品出品（於・カンボジア日本大使館）
- 2月 徳島県美術家協会デザイン部ポスター展「LOVE」作品出品
（於・徳島県立近代美術館ギャラリー）
- 9月 第99回二科展デザイン部門 会員努力賞受賞（於・東京 国立新美術館）

■坂本三千一

- 2月 徳島県美術家協会デザイン部ポスター展「LOVE」出品
（於：徳島県立近代美術館ギャラリー）

■沢口 功

- 2月 第42回徳島市芸術祭 美術展 デザイン部門審査員出品
（於：徳島市シビックセンター3階ギャラリー）
- 2月 徳島県美術家協会デザイン部ポスター展「LOVE」出品
（於：徳島県立近代美術館ギャラリー）
- 12月 第43回歳末チャリティー作品・色紙即売展 出品
〔徳島新聞社会文化事業団〕（於：そごう徳島店）

■敷島のり子

- 1月 東京ミッドタウン・デザインハブ第44回企画展 全国巡回
「JAGDA やさしいハンカチ展 Part3 被災地からのことばのハンカチ展」
- 2月 徳島県美術家協会デザイン部ポスター展「LOVE」出品
（於：徳島県立近代美術館ギャラリー）
- 4月 はなはるフェスタ in 野外ポスター展 企画開催/出品
〔ポスターギャラリー実行委員会〕（於：しんまちボードウォーク）

■田中一郎

- 2月 徳島県美術家協会デザイン部ポスター展「LOVE」出品
（於：徳島県立近代美術館ギャラリー）
- 3月 城東高校第32回定期演奏会 ポスター・ちらし・チケット・プログラム表紙・
看板のデザイン制作（於：徳島市立文化センター）

■西林良枝

- 2月 第42回徳島市芸術祭美術展 デザイン部門 特別出品
（於：徳島市シビックセンター3階ギャラリー）
- 2月 徳島県美術家協会デザイン部ポスター展「LOVE」看板、案内ハガキデザイン&
作品2点出品（於：徳島県立近代美術館ギャラリー）

■福井 章

「徳島賛画」をテーマに、ふるさとを描く作業を続けています。

- 2月 徳島県美術家協会デザイン部ポスター展「LOVE」出品
(於：徳島県立近代美術館ギャラリー)
- 7月 徳島調停協会連合会会報(イラストレーション)
- 12月 第43回歳末チャリティー作品・色紙展出品
〔徳島新聞社会文化事業団〕(於：そごう徳島店)

■三木由佳里

- 2月 第42回徳島市芸術祭 美術展 デザイン部門・B1ポスター無鑑査出品
(於：徳島市シビックセンター3階ギャラリー)

■山内典子

- 2月 徳島県美術家協会デザイン部ポスター展「LOVE」出品
(於：徳島県立近代美術館ギャラリー)

■吉本 實

- 2月 第42回徳島市芸術祭 美術展 デザイン部門・B1ポスター特別出品
(於：徳島市シビックセンター3階ギャラリー)
- 2月 徳島県美術家協会デザイン部ポスター展・B1x3ポスター出品
(於：徳島県立近代美術館ギャラリー)
- 4月 はな・はるフェスタ in 徳島 野外ポスター展 [Tokushima Appeals]・
B0ポスター出品 (於：新町橋ヴォードウォーク)
- 10月 徳島県花基金事業2015年版「とくしま花へんろポスターカレンダー」
アートディレクション・デザイン制作 [徳島県観光協会]
- 11月 徳島県「VS東京」都営バスフルラッピング発信事業 デザイン参画
(JAGDA 産学官連携) [徳島県農林水産部もうかるブランド推進課]

■四十宮隆志

- 2月 徳島県美術家協会デザイン部ポスター展「LOVE」グラフィックデザイン
3点出品 (於：徳島県立近代美術館ギャラリー)
- 4月 はなはるフェスタ2014 野外ポスター展 "Tokushima Appeals"
グラフィックデザイン1点出品 [ポスターギャラリー実行委員会]
(於：東船場ボードウォーク)
- 6月 JAGDA 日本グラフィックデザイナー協会 通常総会2014
全国総会&平和ポスター展出席 (於：広島国際会議場)
- 8月 国際アニメーションフェスティバル広島大会2014 作品鑑賞&合流パーティ参加
(於：広島アステールプラザ)
- 8月 ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ&ラハティ国際ポスタートリエンナーレ視察
(於：ワルシャワ&ラハティ各ポスター美術館)

- 11月 ライオンズクラブ国際平和ポスター審査会 審査員参加
(於・ホテルサンシャイン)
- 12月 第43回歳末チャリティ作品・色紙即売展
グラフィックデザイン3点出品〔徳島新聞社会文化事業団〕(於・そごう徳島店)
- 12月 第9回“4th BLOCK”国際ECOポスタートリエンナーレ
グラフィックデザイン5点コンペ出品 (於・ウクライナ・ハリコフ現代美術センター)

会 員 名 簿

美術家協会の会員制度

(44年度から実施, 49年一部改正, 平成10年一部改正)

- ◎ 正会員になるためには、各部委員会の推薦による承認が必要です。
- ◎ 正会員は次のいずれかの部に属するものとします。
①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫刻 ⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン
- ◎ 正会員は、会費年額 3,500 円（うち 1,750 円は部会費）を定められた日までに納入して下さい。
- ◎ 新しく正会員になる場合は、入会金として 1,000 円を納入して下さい。
- ◎ 定められた日までに、会費未納のときは退会とみなします。
- ◎ 正会員は県美術展・放美展等への出品、展覧会、講習会の案内で、恩典を得ることができます。

あ と が き

春には第22回放美展が、5月2日(金)から6日(火)まで、秋には第69回徳島県美術展が、第1期10月11日(土)から19日(日)まで、第2期10月21日(火)から28日(火)まで開催され、無事盛会のうちに終了することができました。関係各位のご尽力によるものと心より感謝いたします。

来年度は、放美展には25歳以下の若い入選者を対象に「四国大学賞」が設けられます。また70回展を迎えた県美術展は、2期制から3期制への移行と、新展開が図られようとしています。

なお今回の美術年報の装幀は、デザイン部の沢口 功さんをお願いして、このような素晴らしいものとなりました。

洋画部が美協事務局を引き受けてから早2年近くが経ち、6月1日から写真部に引き継ぎます。この間の、会員の方々のご協力本当にありがとうございました。

最後になりましたが、皆様の創作活動がますます充実されますよう、祈念してお礼とさせていただきます。

徳島県美術家協会事務局
(西川)

美術年報 2015

平成 27 年 3 月 28 日 印刷

平成 27 年 3 月 31 日 発行

編集者 西川 周 三

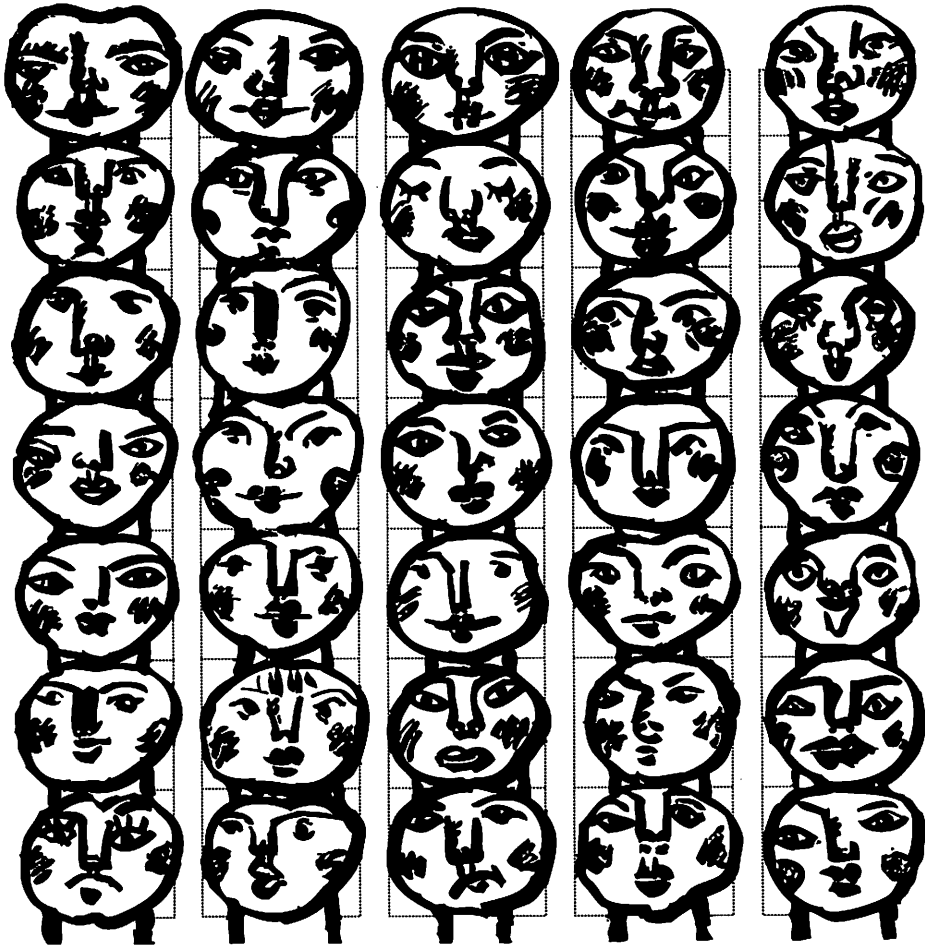
装幀者 沢 口 功

発行人 河 崎 良 行

印 刷 星印刷株式会社

発行所 徳島県美術家協会

徳島市大谷町大縄手 7-1 西川方



Face-35 Design IssaSavaguchi